Canon

普通紙ホームファクス

ファクスホン CF-VL20

別冊取扱説明書<電話サービス編>

CF-VL20をお買い上げいただきありがとうございました。
この別冊取扱説明書は、本機で利用できるサービスについて記載されています。
サービスをご利用になる前にこの別冊取扱説明書をよくお読みになり、本機をご活用ください。
お読みになった後も、保証書とともに大切に保管してください。

各説明書のご紹介

□ セットアップシート
簡単に準備することができるシートです。最初に必ずこのシートをご覧になり、準備をしてください。

□ 取扱説明書
電話や留守番電話、ファクス、コピー、ハンドスキャナ、ドアホンなど、本機で使用できる機能について説明しています。

☑ 別冊取扱説明書＜電話サービス編＞（本書）
次のサービスについて説明しています。
● かけてきた相手の電話番号や名前を表示することができるナンバー･ディスプレイ。
● 便利なＬモードサイト（番組）やインターネットのホームページを見たり、メールの送受信ができるＬモード。
● ファクス専用の電話番号や子機専用の電話番号を設定できるモデムダイヤルイン。
● ファクスをより便利に活用できるファクシミリ通信網（Ｆネット）。
● ファクスをＥメールとして送信できる iFAX。

□ プリンタドライバインストールガイド
本機をプリンタとして使用するための準備方法について説明しています。プリンタドライバをインストールするときは必ずこのガイドをご覧ください。

本書　もくじ

1章　ナンバー・ディスプレイ

2章　Lモード

３章　その他のサービス

４章　こんなときは

５章　参考

1 章 相手の電話番号を表示する「発信電話番号表示機能」を利用して、かけてきた相手によって呼出音を変えたり、特定の相手からの電話を受けないなどの機能について説明しています。

ナンバー・ディスプレイ

2 章 知りたい情報がすぐに手に入る「情報検索サービス」やパソコンがなくてもメールが使える「メールサービス」、着信メロディのダウンロードなどについて説明しています。

Lモード

3 章 1つの電話回線で2つの電話番号を持つことができる「モデムダイヤルイン」などについて説明しています。

その他のサービス

4 章 困ったときの対処法について説明しています。

こんなときは

5 章 サービスに関する語句から、説明ページを探すことができる索引を掲載しています。

参考

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。製品をお使いになる前に必ずお読みになり、内容をよく理解してから、製品をお使いになってください。

⚠危険 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの危険事項をお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い 操作上守らなければならない重要事項や禁止事項が書かれています。本機の故障を防ぐために必ずお読みください。

メモ 操作上参考になることや補足説明が書かれています。

1章 ナンバー・ディスプレイ

相手の電話番号を表示する（発信電話番号表示機能）

NTT東日本、NTT西日本（以下、NTTと略す）のナンバー・ディスプレイ（有料）をご契約すると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。ただし、相手が「通常非通知（回線ごと非通知）」を契約している場合や、ダイヤルする前に「184」（イヤヨ）を押した場合などは、電話番号が表示されません。ナンバー・ディスプレイについて詳しくは、NTT窓口などにお問い合わせください。

1 メニュー を押す

2 ◇ を押し、「初期設定」を選び、セット を押す

3 4 を押し、「ナンバー・ディスプレイ」を選ぶ

4ナンバーディスプレイ
する
しない

4 「する」を選び、セット を押す

5 登録 を押す

お願い

ナンバー・ディスプレイを契約している場合は、必ずナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください。
「しない」に設定されていると、ボイスワープ*の呼出回数が異なることがあります。

*ボイスワープについて詳しくは、NTT窓口などにお問い合わせください。

メモ

- 次のような場合は、発信電話番号表示機能／相手先名前表示機能がご利用になれないことがあります。
  - ・電話帳に相手の電話番号が市外局番から正しく登録されていない場合
  - ・本機をナンバー・ディスプレイに未対応の通信機器（TAなど）に接続している場合
  - ・１本の電話回線で２セット以上の電話機をご使用の場合
- 14桁（子機17桁）以上の電話番号は下13桁（子機下16桁）が表示されます。
- 受話器を取ったとき「ザー」という音が聞こえる場合は、電話がかかってきています。受話器を置いてお待ちください。このような場合は、呼出音が鳴っても相手の電話番号はディスプレイに表示されません。
- 着信拒否の設定をした相手からの電話の場合はディスプレイに「着信拒否番号」などと表示されます。詳しくは1-4ページをご覧ください。
- キャッチホン·ディスプレイをご利用になるには、ナンバー·ディスプレイとは別にNTTとのご契約が必要です（有料）。
- ネーム·ディスプレイをご利用になるには、ナンバー·ディスプレイとは別にNTTとのご契約が必要です（有料）。

お問い合わせ先（無料）
ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター
0120-848521（ハッシンバンゴウツウチ）
受付時間　午前９：00～午後５：00（日曜・祝日・年末年始は除きます）

電話がかかってきたときの表示

相手の状況に応じて次のようなディスプレイ表示になります。キャッチホンが入ったときにも、同様の表示がされます（キャッチホン・ディスプレイ）。

ディスプレイ表示	内　容
親 0312345678 子 0312345678	電話をかけてきた相手の電話番号です。 「161」と表示されているときは、Fネットからファクスが送信されています。
親 ☎松浦弘幸 0312345678 子 松浦弘幸 0312345678	親機や子機の電話帳に登録されている相手から電話がかかると、名前と電話番号が表示されます（相手先名前表示機能）。
親 非通知 子 非通知	電話番号を表示しない契約の相手からの電話です。または、相手が「184」をダイヤルしてからかけてきました。
親 公衆電話 子 公衆電話	公衆電話からの電話です。
親 表示圏外 子 表示圏外	サービス対象外の地域（海外など）や、サービスに対応していない携帯電話やPHSなどからの電話です。
親 受信エラー 子 受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、電話番号の情報を正しく受信できませんでした。
親 松川尚彦 0356781234 子 松川尚彦 0356781234	ネーム・ディスプレイご利用の場合は、相手がNTTに登録している発信者名が親機のディスプレイに表示されます。（相手が発信者名を「非通知」で契約している場合やダイヤルする前に「184」を押した場合などを除きます。）ただし、相手の名前が親機と子機それぞれの電話帳に登録されている場合は、その登録されている名前が表示されます。

かけてきた相手によって呼出音を変える（なりわけ着信音）

電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときに、通常とは異なった呼出音を鳴らすことができます。あらかじめ相手の電話番号を市外局番から電話帳に登録し、ナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください。

親 親機を設定する

親機の電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときだけ、設定している呼出音（取扱説明書2-15ページ）を鳴らすことができます。電話帳に登録されていない相手の場合は、設定できる呼出音とは異なった「ベル」が鳴ります。

1 メニュー を押す

2 を押し、「着信設定」を選び、セット を押す

3 8 を押し、「電話帳着メロ呼出」を選ぶ

8電話帳着メロ呼出
する
しない

4 「する」を選び、セット を押す

5 登録 を押す

子 子機を設定する

子機の電話帳に登録されている相手によって、違った呼出音を鳴らすことができます。

外線 が消灯している状態で操作してください。

1 を押し、呼出音を変えたい相手を選ぶ

電話帳
松浦弘幸
0345678901

2 メニュー/セット を押す

電話帳メニュー
修正
鳴り分け
一件消去

3 を押し、「鳴り分け」を選び、メニュー/セット を押す

鳴り分け
▲前の音
▼次の音
鳴り分けＯＦＦ

4 を押し、呼出音を選び、メニュー/セット を押す

選ぶことのできる呼出音については、下記の表をご覧ください。
「鳴り分けOFF」を選ぶと、子機の呼出音として設定してある音が鳴ります。

選ぶことのできる呼出音は
鳴り分けOFF
ベル
華麗なる大円舞曲
ラデツキー行進曲
春
ユーモレスク
森のくまさん
メロディ１（自作着信メロディを登録している場合）
メロディ２（自作着信メロディを登録している場合）

非通知や特定の相手からの電話を受けない（着信拒否）

非通知や特定の相手からの電話の着信を拒否できます。かけてきた相手には「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません」などの音声メッセージを流し、電話を切ります。この機能をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください。
（お買い上げ時の設定は着信拒否をしない状態になっています。）

1 メニュー を押す

2 を押し、「着信設定」を選び、セット を押す

3 9 を押し、「着信拒否」を選ぶ

着信拒否を選ぶとき

4 を押し、「着信拒否」の設定を選び、セット を押す
選んだ着信拒否にチェックマーク「☑」がつきます。もう一度、セット を押すと、チェックマークが消えます。
選べる着信拒否については右の表をご覧ください。

5 他に着信拒否を選ぶときは、手順4を繰り返す

6 登録 を押す

拒否する電話番号を登録するとき

4 を押し、「TEL1」～「TEL30」のいずれかを選び、セット を押す

5 0 ～ 9 を押し、拒否する電話番号を入力し、確定 を押す
市外局番から入力してください。

6 他に電話番号を入力するときは、手順4～5を繰り返す

7 登録 を押す

着信拒否の種類と内容

着信拒否の種類	内容
☑非通知着信拒否	非通知契約の電話番号からの着信や、「184」をダイヤルしてからかけてきた電話の着信を設定します。拒否するときは、この項目にチェックマークをつけます。
☑公衆電話拒否	公衆電話からの着信を設定します。拒否するときは、この項目にチェックマークをつけます。
☑表示圏外拒否	電話番号を通知できない地域やサービスに対応していない携帯電話、PHSなどからの着信を設定します。拒否するときは、この項目にチェックマークをつけます。
TEL1 TEL2 TEL3 ・ ・ ・	受けたくない相手の電話番号を30件まで設定できます。着信拒否の電話番号を設定すると、その相手からの電話はいっさい受け付けなくなります。

登録した電話番号を消去するには
「拒否する電話番号を登録するとき」の手順５で 0 ～ 9 のかわりに 消去 を押して電話番号を消去します。

お願い

着信を拒否する電話番号を登録するときは慎重に行ってください。
緊急の電話がかかってきても、登録した相手からの電話はいっさい受けられません。

メモ

登録した相手から電話がかかってきたときは、呼出音は鳴りません。親機のディスプレイには「非通知着信拒否」、「公衆電話拒否」、「表示圏外拒否」または「着信拒否番号」と表示されます。子機のディスプレイには「着信」と表示されますが、外線 を押しても電話を受けることができません。

かけてきた相手の電話番号を利用する(着信履歴)

かけてきた相手の電話番号を親機、子機それぞれ30件まで記憶しています。記憶されている電話番号をディスプレイに表示してご利用になれます（着信履歴)。「着信履歴」をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください。

電話番号を確認する／電話をかける

留守中の着信を確認したり（着信履歴検索機能)、その相手に簡単な操作で電話をかける（着信履歴ダイヤル機能）ことができます。

親 親機で確認する／電話をかける

子 子機で確認する／電話をかける

外線 が消灯している状態で操作してください。

表示中の着信履歴を消去するには

親機の場合は、着信履歴画面を表示中に を押し、消去する履歴を選び、一件消去 を押してから はい を押します。

子機の場合は、着信メモリ画面を表示中に メニュー/セット を押してから、を押し、「一件消去」を選び、メニュー/セット を押します。を押し、「はい」を選び、メニュー/セット を押します。

子機に記憶されている着信履歴をすべて消去するには

着信メモリ画面を表示中に メニュー/セット を押してから、を押し、「全件消去」を選び、メニュー/セット を押します。を押し、「はい」を選び、メニュー/セット を押します。

メモ

- かかってきた電話が記憶件数を超えたときは、古いものから順に消去されます。
- かかってきた電話の相手先が電話帳に登録されている場合、登録されている名前も同時に表示されます。
- 着信した電話が非通知契約や公衆電話などのときは、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」、「受信エラー」などと表示され、電話番号は記憶されません。
- 子機の発信番号履歴について詳しくは取扱説明書 2-5 ページをご覧ください。
- ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定していても、かかってきた電話の着信日時のみ確認することができます。(取扱説明書 2-3 ページ)
- ネーム・ディスプレイをご利用の場合でも、かかってきた電話の相手先が電話帳に登録されているときは、その登録されている名前が着信履歴に表示されます。

かけてきた相手の電話番号を利用する（着信履歴）（つづき）

電話番号を電話帳に登録する

かけてきた相手の電話番号を電話帳に登録できます。

親機の電話帳に登録する

1 着信履歴/キャッチ ○ を押す

2 を押し、登録する着信履歴を選ぶ

3 電話帳登録 を押す

4 親機の「電話帳に登録する」（取扱説明書 2-8 ページ）の手順にしたがって、電話帳に登録する

手順 2 で選んだ電話番号があらかじめ入力されています。

子機の電話帳に登録する

外線 が消灯している状態で操作してください。

1 を 2 回押す

発信番号履歴（発信メモリ）がない場合は を 1 回だけ押してください。

着信メモリ
0312345678
8月31日 18：05

2 を押し、登録したい相手を選び、メニュー/セット を押す

着信メモリ
電話帳登録
一件消去
全件消去

3 「電話帳登録」を選び、メニュー/セット を押す

電話帳
名前？
残り 98件
漢

4 子機の「電話帳に登録する」（取扱説明書 2-11 ページ）の手順にしたがって、電話帳に登録する

手順 2 で選んだ電話番号があらかじめ入力されています。

メモ

発信番号履歴について詳しくは取扱説明書2-5ページをご覧ください。

新着信表示を設定する

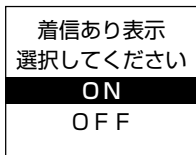
電話がかかってきて、子機で受けなかった場合に、着信を知らせる機能（新着信表示）を設定します。新着信表示を「ON」にすると、電話を受けなかった子機のディスプレイに「着信あり」と表示されます。
（お買い上げ時の設定は「ON」になっています。）

が消灯している状態で操作してください。

1 メニュー/セット を押す

2 を押し、「着信あり表示」を選び、メニュー/セット を押す

着信あり表示
選択してください
ON
OFF

3 「ON」を選び、メニュー/セット を押す

「ピーッ」と鳴って、新着信表示が設定されます。

設定を解除するには

手順３で、を押し、「OFF」を選び、メニュー/セットを押します。

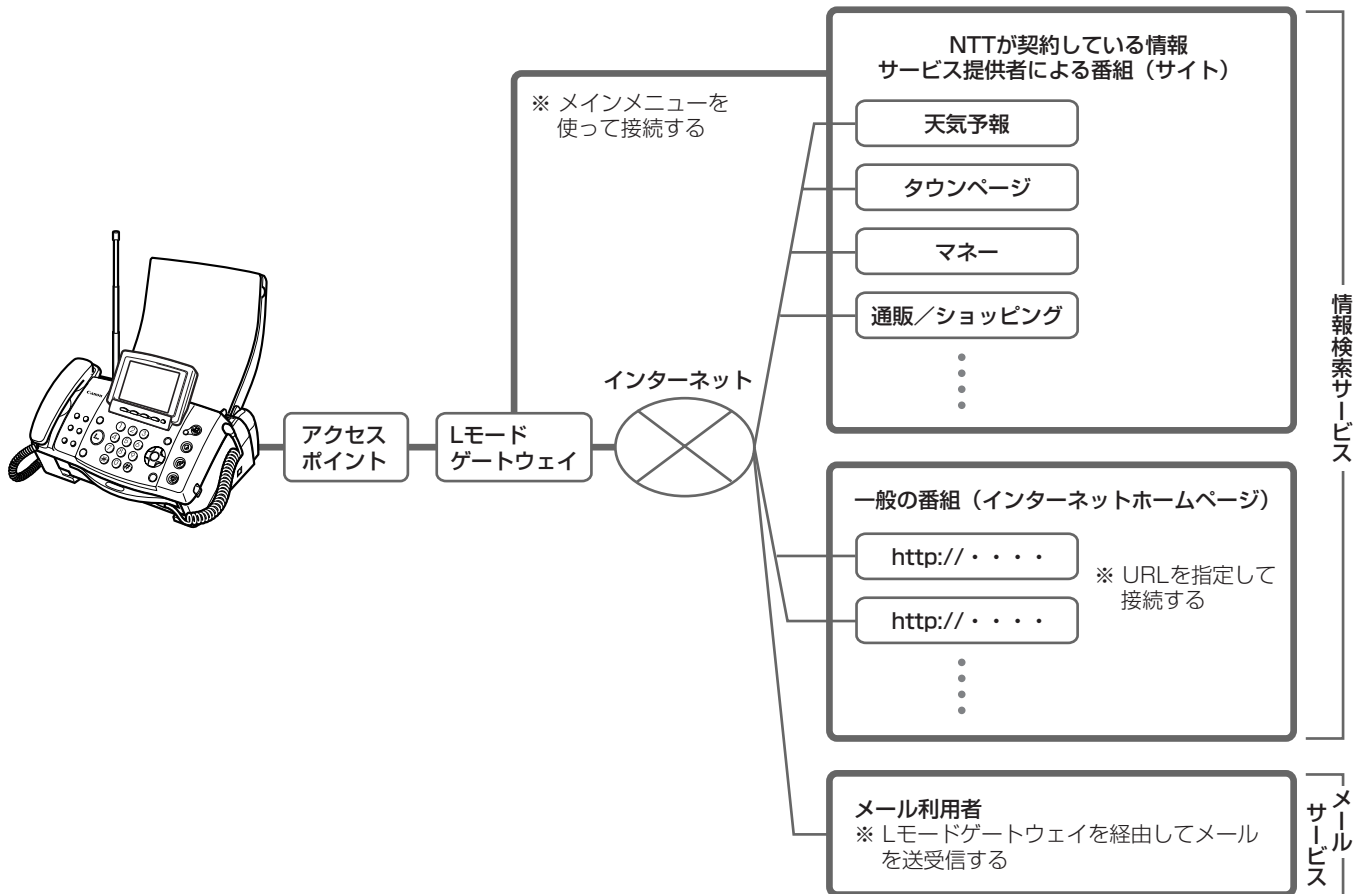
メモ

- 新着信表示が「ON」に設定されていても、設定されている子機で電話に出ると表示されません。ただし、親機や他の子機で電話に出たときは、設定されている子機に新着信表示が表示されます。
- 着信履歴を表示させる（1-5 ページ）と新着信表示は消えます。

2章 Lモード

L モードとは

NTT が提供するL モード（有料）をご契約すると、L モード対応の電話機／ファクスだけで、日々の生活に役立つ情報、地域に密着した情報をご利用になれます。また、パソコンや携帯電話などとメールを送受信することができます。

Lモードのしくみ

Lモードでできること

情報検索サービス

本機の簡単なメニュー操作により、Lモードゲートウェイに接続してオンラインショッピングや各種チケットの予約をはじめ、タウンページの検索や着信メロディのダウンロードなどのサービスをご利用になれます。
メニュー操作以外に、本機に見たいインターネットホームページのアドレスを直接入力すると、Lモードゲートウェイを経由してインターネットに接続してインターネットホームページを見ることができます。情報検索サービスの操作ができるのは、親機だけです。
※L モードの情報は、一部有料のものがあります。

メールサービス

Lモードゲートウェイに接続してLモード対応の電話機／ファクス同士だけでなく、パソコンや携帯電話などとメールを送受信することができます。最大 500 文字まで送受信することができます。
L モードご契約時のメールアドレスは、「お客様の電話番号 @pipopa.ne.jp」です。メールサービスの操作ができるのは、親機、子機の両方です。
「お客様の電話番号」の部分は、お客様の好きな英数字と「_（アンダーバー）」、「.（ピリオド）」および「-（ハイフン）」の組み合わせによる「マイアドレス」に変えることができます。変えるときに簡単なメールアドレス（名前など）にすると間違いメールや迷惑メールが届くことがあります。すでに他のお客様が利用しているメールアドレスに変えることはできません。
L モードゲートウェイではメールを 14 日間保存します。また、最大 200 件まで保存します。

写真Ｌメールサービス

写真Ｌメールは、Ｌモード間およびパソコンや携帯電話との間で写真などの画像が添付されたメール（写真付きメール）の送受信ができるサービスです。写真Ｌメールの受信では、写真付きメールに記載された画像参照用URLにアクセスすることにより、Ｌモードゲートウェイに蓄積された画像が閲覧できます。写真Ｌメールの送信では、送信機能に対応した端末から、写真などの画像を添付したメールを送信します。（本機は写真Ｌメール送信を利用したイラストＬメール送信に対応しています。）Ｌモードゲートウェイでのメール保存期間は14日間です（本機から携帯電話に送信した場合のみ）。14日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
※写真Ｌメールサービスの開始時期は2003年夏以降です。

メモ

- Ｌモードをご利用になるには、お客様の電話番号（発信電話番号）を通知する必要があります。
- 情報検索サービスをご利用する際、Ｌモードの利便性の向上のため、情報提供者へユーザIDおよび地域識別コード、ブラウザバージョン等の通信機器に関わる情報を通知します。
- Ｌモードの操作には、Ｌモードゲートウェイに接続して行う操作と接続しないで行う操作があります。ディスプレイの「 」は、Ｌモードゲートウェイと接続しているときにだけ表示され、オンフック が点滅します。この間は通信料金がかかります。
- Ｌモードの通信中に、回線の通信状況等によりメールの送受信および情報検索ができなかった場合でも、通信料が発生します。
- Ｌモードゲートウェイに接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイが入ると、通信状態が不安定になり、Ｌモードゲートウェイとの接続が切断される場合があります。
- Ｌモードゲートウェイに接続しているときは通話中となり、電話を受けたり、ファクスを受信することができません。
- PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど、発信元の電話番号の先頭に「0」をつける必要がある通信機器に本機を接続した場合は、Ｌモードをご利用になることはできません。
- Ｌモードをご利用の電話回線には、複数台の電話機をブランチ式（並列）接続しないでください。Ｌモードが正常に作動しない場合があります。
- 何も操作をしていないのに「切断されました」と表示された場合は、セット を押してください。Ｌモードゲートウェイとの接続が切断されています。ディスプレイの表示は変わりません。
  Ｌモードゲートウェイとの接続中に一定の時間何も操作をしないと、無通信監視時間（2-61ページ）により、自動的にＬモードゲートウェイとの接続が切断されています。接続が切断されるまでの時間を設定したり、自動的に切断されないように設定することもできます。
- Ｌモードのサイト（番組）以外のインターネットホームページなどは、正しく表示されない場合があります。JPEG、GIFおよびPNG形式以外の画像データは表示されません。JPEG、GIFおよびPNG形式の画像データでも正しく表示されない場合があります。
- 迷惑メールが届いた場合は、「マイアドレス」に変更するか、「迷惑メールおことわり機能」をご利用ください。詳しくは、NTTの「Ｌモード使用説明書」をご覧になるか、NTTまでお問い合わせください。
- すでに転送でんわをご契約している場合は、Ｌモードをご契約することはできません。
- ボイスワープとＬモードを併せてご契約する場合は、ボイスワープの設定を「無応答時転送」に変更してください。詳しくは、NTTの「Ｌモード使用説明書」をご覧になるか、NTTまでお問い合わせください。

パスワードの変更・メールの設定について

パスワードは設定・変更することができます。また、ご契約時のメールアドレスをお客様の好きなメールアドレス（マイアドレス）に変更することができます。パスワードやマイアドレスの設定については、NTTの「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

パスワード設定

メールやサイト（番組）によっては、パスワードが必要になります。
※ パスワードを保存すると、ご契約者以外の方も、ご契約者同様にＬモードをご利用できるようになりますので、ご注意ください。

マイアドレス設定

メールのご契約時のメールアドレスは、「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」です。「お客様の電話番号」の部分をお客様の好きな英数字と「_（アンダーバー）」、「.（ピリオド）」および「-（ハイフン）」の組み合わせによる「マイアドレス」に変えることができます。3文字以上16文字以内で設定することができます。ただし、先頭の文字は必ず英字にしてください。
メールアドレスを変更すると、変更前のメールアドレスには、メールが届かなくなります。また、すでに他のお客様が利用しているメールアドレスに変えることはできません。
変更したメールアドレスは、Ｌモードゲートウェイに保存されます。

料金割引サービスについて

NTT 東日本／西日本の番号指定型料金割引サービス（i・アイプランなど）

L モードのご利用電話番号（アクセスポイントの電話番号）に対して、料金割引サービスをご契約する場合は、必ず本機に設定されているアクセスポイント電話番号をご確認のうえ、お申し込みしてください。
すでに L モードのご利用電話番号（アクセスポイントの電話番号）に対して、料金割引サービスをご契約されている場合は、お客様が以前お使いの機器から本機に交換して L モードをご利用になると、アクセスポイントの電話番号が変更になり、料金割引サービスが適用されなくなることがあります。このため、本機に設定されているアクセスポイントの電話番号を必ず確認していただき、ご契約の料金割引サービスの電話番号と異なる場合は、ご契約の電話番号を変更してください。詳しくは、NTT 東日本／西日本窓口にご相談ください。

本製品のインターネット機能は株式会社 ACCESS の NetFront 3 を搭載しています。

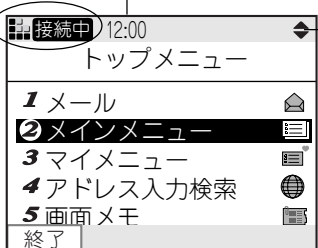
L モードについて詳しくは、局番なしの「116」番へお問い合わせください。
受付時間：午前 9 時〜午後 5 時　年中無休（年末年始 12 月 29 日〜 1 月 3 日を除きます）

L モードを使えるように設定する

はじめて L モードをご利用になる場合は、必ず以下の操作を行ってください。

1 を押す

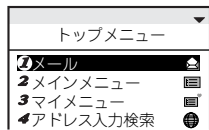
2「はい」を選び、セット を押す
「接続中」、「設定中」と表示された後、自動的に設定が完了します。

3 セット を押す
トップメニュー画面が表示されます。
L モード画面を終了する場合は、ストップ を押します。待機画面に戻ります。

L モード中のディスプレイの表示について

情報検索サービスを利用しているときに 消去 または トップメニュー を押すと、トップメニュー画面が表示されます。
メールサービスを利用しているときに 消去 または 戻る を押すと、1 つ前の画面が表示されます。

Lモード画面を表示する

1 （Lモードボタン）**を押す**

トップメニュー画面が表示されます。トップメニューは8項目あり、主な操作はこの画面から始めます。

「Canon トップメニュー」のご案内

本機をお買い上げいただいたお客様は、「Canonトップメニュー」の便利な情報をご利用になることができます。情報は随時更新され、新しい情報も追加されます。トップメニュー画面で「7 Canon トップメニュー」を選んでご利用ください。

※情報の内容は予告なしに変更される場合があります。

※ご利用中は通信料金がかかります。

Lモード中に回線を切断する

1 Lモード画面で オンフック を押す

オンフック が消灯します。

切断されました。
OK

2 セット を押す

回線が切断されます。

Lモード画面を終了する

1 Lモード画面で ストップ を押す

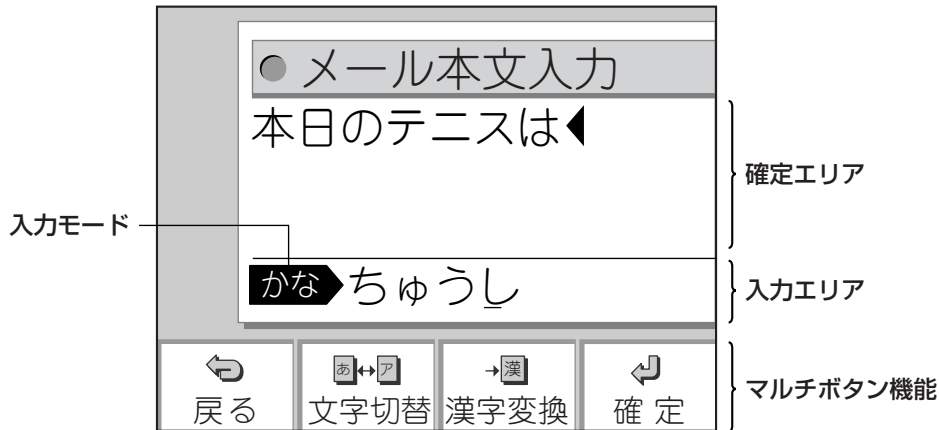
待機画面に戻ります。

オンフック が消灯していることを確認してください。

文字入力について

親 親機で入力する

ダイヤルボタンを使って文字を入力します。各ボタンには「文字リスト」の文字が割り当てられており、ボタンを押すごとに文字が変わります。
ここでは、メール文章作成時の文字入力について説明します。電話帳登録時の文字入力については、取扱説明書をご覧ください。

文字入力中のディスプレイ表示

確定エリア	入力エリアで確定した文字がここに表示されます。
入力モード	入力中のモードを表示します。 ［文字切替］を押すごとに、入力モードが切り替わります。
入力エリア	入力モードで入力中の文字が表示されます。
マルチボタン機能	各状態により表示される項目が変わります。

入力モードの切り替え

文字リスト

入力モード / ボタン	かな	カナ	英*1	数*1
@.-_ 1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@._-/:	1
ABC 2 か	かきくけこ	カキクケコ	abc ABC	2
DEF 3 さ	さしすせそ	サシスセソ	def DEF	3
GHI 4 た	たちつてと っ	タチツテト ッ	ghi GHI	4
JKL 5 な	なにぬねの	ナニヌネノ	jkl JKL	5
MNO 6 は	はひふへほ	ハヒフヘホ	mno MNO	6
PQRS 7 ま	まみむめも	マミムメモ	pqrs PQRS	7
TUV 8 や	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	tuv TUV	8
WXYZ 9 ら	らりるれろ	ラリルレロ	wxyz WXYZ	9
記号 0 わ	わをん ゎ、。ー！？	ワヲン ､｡-!?	.',;:-"() []{}&_!# $% ^*+|=<>? '¥/ `@	0
* ゛゜ トーン	゛ ゜ (*2)	ﾞ ﾟ		
#	（改行）			

*1 半角文字入力。入力中に［サイズ変換］を押すことで、全角文字に変換できます。

*2 「゛」「゜」をつけることができない文字の後ろには「゛」「゜」を入力することはできません。

入力モード	入力できる記号
記号*3 （半角記号）	半角記号(1/9) @. _–/ : ; , `'!?^*+¥#$%&()<>[]{}"~|=
	全角記号(2/9～5/9) 、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃 仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」 『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄ ¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒 →←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂ ∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ ゐゑヰヱヴヵヶ
	特殊記号(6/9～8/9) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢ ⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫ ㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧ ㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪
	区点コード(9/9) 取扱説明書10-4ページをご覧ください。
記号 （絵文字）	絵文字(1/8～8/8) ・・・・・・・・

*3 ［次の一覧］を押すことで、一覧画面の切り替えができます。

入力モード	入力できる定型
定型*4	.co.jp .ne.jp .com .ac.jp .ad.jp .ed.jp .go.jp .gr.jp …………
	こんにちは わかりました OKです わかりません NGです メールしてください 電話してください FAXしてください …………
	(^_^) (^o^) (^_^; (-_-;) (・・;) (; _ ;) (*^_^*) m(_ _)m …………
	How are you? I love you! Congratulations! Thank you! …………
	お父さん お母さん おじいちゃん おばあちゃん おそば屋さん お寿司屋さん ﾗｰﾒﾝ屋さん ピザ屋さん …………

*4 ［次の一覧］を押すことで、一覧画面の切り替えができます。入力する項目によって、選べる定型文が異なります。

メモ

- #（改行）は、メール本文作成時のみ入力できます。
- 続けて同じボタン上の文字を入力する場合は、文字を入力した後に［カーソル］を押してカーソルを移動してから、次に入力したい文字を入力します。
- スペースを入力する場合は、［カーソル］を押して確定エリアにあるカーソル（ ）を右に動かしスペースを入力します。

文字入力について（つづき）

ひらがな入力と漢字入力をするには

1

文字切替 を押し、「かな」を選ぶ

2

記号 0 わ ～ WXYZ 9 ら を押し、ひらがなを入力する

入力エリアに文字が全角で表示されます。
漢字変換をしないときは手順４に進みます。

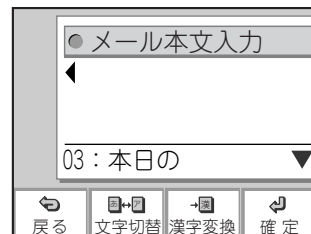
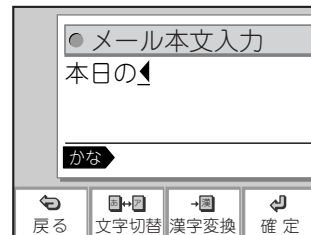
● メール本文入力
かな ほんじつの
戻る 文字切替 漢字変換 確 定

3

漢字変換 を押し、◎ を押し、変換候補の中から変換したい漢字を選ぶ

消去 ○ を１回押すと変換を取り消せます。

4

確 定 を押す

確定エリアに文字が表示されます。

入力した文字を消去するには

消去 ○ を押すと、１文字ずつ消去することができます。

文字を追加するには

◎ を押して、確定エリアにあるカーソルを挿入したい位置に移動し、文字を入力します。

文字を修正するには

◎ を押して、修正したい文字までカーソルを移動し、 消去 ○ を押して、入力し直します。

メモ

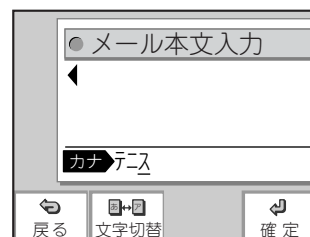
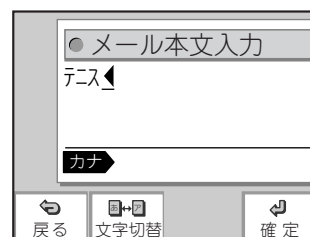
- 漢字がうまく変換されないときは、変換文字数を１文字分にしたり、濁点や半濁点を外したり、読み（音読み・訓読み）を変えて入力し直してください。
- 「かな」と「漢字」は半角に変換することはできません。

カタカナ入力をするには

1 文字切替 を押し、「カナ」を選ぶ

2 0 〜 9 を押し、文字を入力する

入力エリアに文字が半角で表示されます。

3 を押す

確定エリアに文字が表示されます。

全角のカタカナを入力するには

「かな」モードで、ひらがなを入力後、漢字変換 を押し、変換候補の中から全角のカタカナを選びます。

英字入力・数字入力をするには

1 文字切替 を押し、「英」または「数」を選ぶ

2 0 〜 9 を押し、文字を入力する

入力エリアに文字が半角で表示されます。

サイズ変換 を押すと、全角文字に変換できます。

3 を押す

確定エリアに文字が表示されます。

文字を入力する項目によっては、全角文字に変換できない場合があります。

文字入力について（つづき）

記号入力をするには

1 文字切替 を押し、「記号（半角記号）」を選ぶ

次の一覧 を押すごとに、一覧画面が切り替わります。

2 を押し、記号を選ぶ

3 確定 を押す

確定エリアに記号が表示されます。

絵文字入力をするには

1 文字切替 を押し、「記号（絵文字）」を選ぶ

次の一覧 を押すごとに、一覧画面が切り替わります。

2 を押し、絵文字を選ぶ

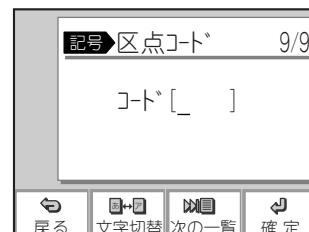
3 確定 を押す

確定エリアに絵文字が表示されます。

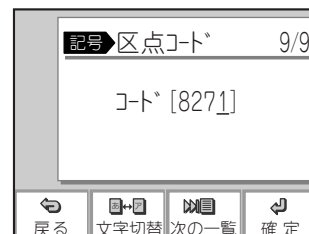
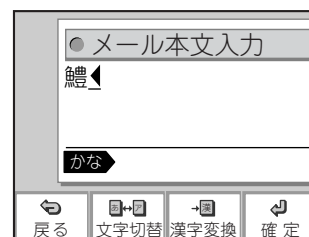
区点コードで入力するには

1 文字切替 を押し、「記号」を選ぶ

2 次の一覧 を押し、「区点コード」を選ぶ

区点コード入力画面になります。

3 ～ ⑨ を押し、区点コード（4桁）を入力する

区点コード表（取扱説明書 10-4 ページ）にある文字・数字・記号を入力できます。

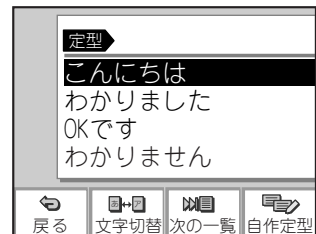
4 確定 を押す

確定エリアに文字が表示されます。

メモ

- 入力した区点コードに割り当てられた文字がない場合は、エラー音が「ピピピ」と鳴って入力されません。
- 区点コードで入力した文字はすべて全角となります。半角しか入力スペースが残っていない場合は、区点コードによる入力はできません。

文字入力について（つづき）

定型文入力をするには

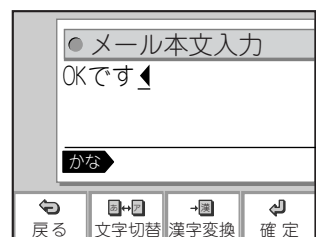
メール作成時に便利です。

1 を押し、「定型」を選ぶ

2 次の一覧 を押し、定型文の種類を選ぶ

次の一覧 を押すごとに、一覧画面が切り替わります。

3 を押し、定型文を選ぶ

4 セット を押す

確定エリアに定型文が表示されます。

定型文を自分で作るには（自作定型文）

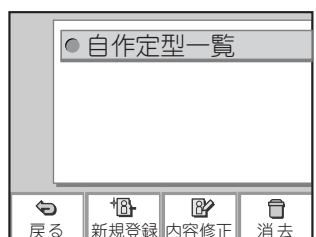
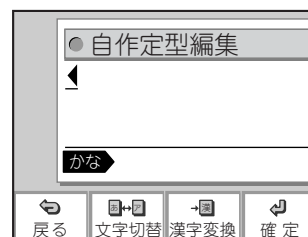
「宛先」に利用できる定型文を 10 件まで、「題名」と「本文」に利用できる定型文を 10 件まで自分で作成し、それぞれ登録することができます。

1 文字切替 を押し、「定型」を選ぶ

2 自作定型 を押す

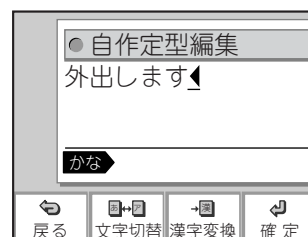
すでに自作定型文を登録している場合は、そのリストが表示されます。

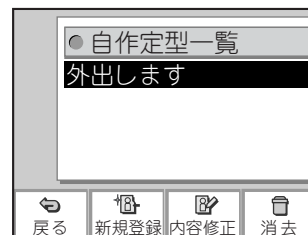
自作定型一覧

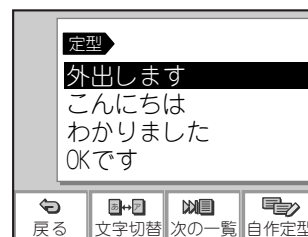
戻る　新規登録　内容修正　消去

3 新規登録 を押す

4 定型文を入力する

全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

5 確定 を押す

確定エリアに文字が表示されます。

6 確定 を押す

入力した定型文が登録されます。

7 戻る を押す

登録した定型文がリストの一番上に表示されます。

自作定型文を修正するには

手順2で自作定型文のリストが表示されているときに、◇ を押して修正したい定型文を選び、内容修正 を押します。修正が終わったら 確定 を押してください。

自作定型文を消去するには

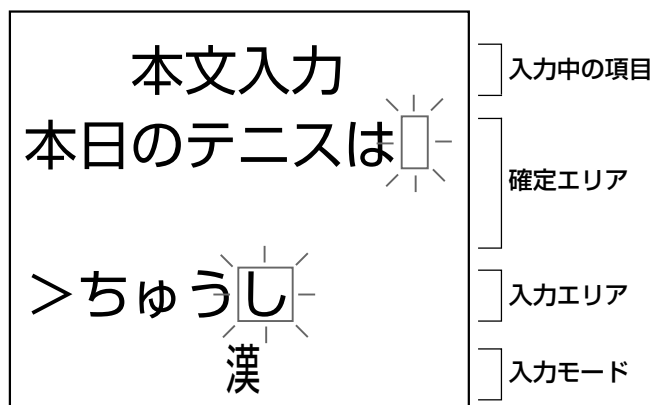
手順2で自作定型文のリストが表示されているときに、◇ を押して消去したい定型文を選び、消去 を押し、はい を押します。

「入力できない文字が含まれています」と表示された場合は
メールアドレスに全角文字などの不適切な文字が含まれている可能性があります。

文字入力について（つづき）

子 子機で入力する

ダイヤルボタンを使って文字を入力します。各ボタンには「文字リスト」の文字が割り当てられており、ボタンを押すごとに文字が変わります。
ここでは、メール文章作成時の文字入力について説明します。電話帳登録時の文字入力については、取扱説明書をご覧ください。

文字入力中のディスプレイ表示

入力中の項目	現在入力中の項目を表示します。
確定エリア	「英」「数」の入力モードで入力された文字がここに表示されます。「漢」の入力モードでは入力エリアで確定した文字がここに表示されます。
入力エリア	「漢」の入力モードで入力中の文字が表示されます。
入力モード	入力中のモードを表示します。 文字/サブメニュー 保留 を押すごとに、入力モードが切り替わります。

入力モードの切り替え

文字リスト

ボタンを押したときに入力できる文字は、次のようになります。

入力モード／ボタン	漢	英	数
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	記号(半角)	1
2	かきくけこ	abc ABC	2
3	さしすせそ	def DEF	3
4	たちつてと っ	ghi GHI	4
5	なにぬねの	jkl JKL	5
6	はひふへほ	mno MNO	6
7	まみむめも	pqrs PQRS	7
8	やゆよ ゃゅょ	tuv TUV	8
9	らりるれろ	wxyz WXYZ	9
0	わをんー 、。		0
＊（トーン）	゛゜ (*1)		＊
#	記号(全角)、 絵文字、顔文字 (*2)	記号(半角)	#
内線	(改行)		

*1　「゛」「゜」をつけることができない文字の後ろには「゛」「゜」を入力することはできません。

*2　入力エリアに確定する前の文字が表示されている場合は、# を押しても記号（全角）、絵文字、顔文字を入力することはできません。確定してから入力します。

入力モード	入力できる記号
漢*3	全角記号 、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃 仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」 『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄ ¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒 →←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔∀∃∠⊥⌒ ∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯０１ ２３４５６７８９ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯ ＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌ ｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚΑΒΓΔΕΖΗΘΙ ΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθ ικλμνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁ ЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬ ЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрст уфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤ ┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰ ┥┸╂
	全角絵文字
	顔文字
英（1 半角記号）	(スペース)　@　.　/　_ .co.jp　.ne.jp　.or.jp　.com　http://www.
英（# 半角記号）	!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

顔文字

(^o^)	m(_ _)m	(>_<)	(T.T)	v(^o^)
(^-^)/~	＼(^o^)／	(? ?)	(◎_◎)	(^_^;)
(-_-#)	(_ _)Zzz	φ(. .;)	p(^-^)q	(^人^)
(+_+)	o(^o^)o	(∩.∩)	(・_・)	(☆o☆)

*3　# を押すことで、一覧画面の切り替えができます。

メモ

- 内線(改行) は、メール本文作成時のみ入力できます。
- 続けて同じボタン上の文字を入力する場合は、文字を入力した後に ◯ を押してカーソルを移動してから、次に入力したい文字を入力します。

文字入力について（つづき）

ひらがな入力と漢字入力をするには

1 文字/サブメニュー 保留 を押し、「漢」を選ぶ

例：本文入力の場合

2 0わ ～ 9らWXYZ を押し、ひらがなを入力する

入力エリアに文字が全角で表示されます。
漢字変換をしないときは手順４に進みます。

本文入力
>ほんじつ
漢

3 を押し、変換候補の中から変換したい漢字を選ぶ

クリア/キャッチ を１回押すと変換を取り消せます。

4 メニュー/セット を押す

確定エリアに文字が表示されます。

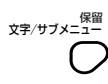
入力した文字を消去するには

クリア/キャッチ を押すと、１文字ずつ消去することができます。

文字を追加するには

を押して、挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力します。

文字を修正するには

を押して、修正したい文字までカーソルを移動し、クリア/キャッチ を押して、入力し直します。

カタカナを入力するには

手順３で変換候補の中からカタカナを選び、全角変換をします。

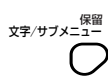
メモ

漢字がうまく変換されないときは、変換文字数を１文字分にしたり、濁点や半濁点を外したり、読み（音読み・訓読み）を変えて入力し直してください。

英字入力・数字入力をするには

1 文字/サブメニュー 保留 を押し、「英」または「数」を選ぶ

本文入力

英

例：本文入力の場合

2 0わ ～ 9らWXYZ を押し、文字を入力する

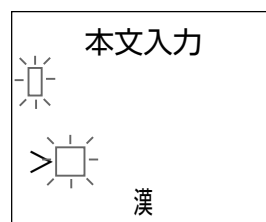
確定エリアに文字が表示されます。

本文入力

Tel

英

記号入力をするには

1 文字/サブメニュー 保留 を押し、「漢」または「英」を選ぶ

例：本文入力の場合

2 #記号 を押す

「漢」の場合は、 #記号 を押すごとに、「記号一覧」→「絵文字一覧」→「顔文字一覧」と切り替わります。

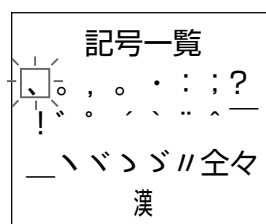
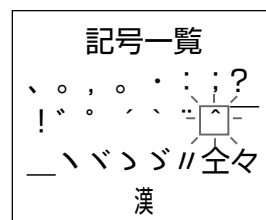
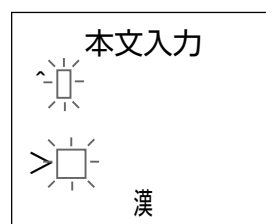
「英」の場合は、 #記号 を押すと半角記号、 1あ@ を押すと「@」や「http://www.」などが入力できます。

記号一覧

、。，．・：；？
！゛゜´｀¨＾￣
＿ヽヾゝゞ〃仝々

漢

3 ◎ を押し、記号を選ぶ

4 メニュー/セット を押す

確定エリアに記号が表示されます。

サイト（番組）に接続する（メインメニュー）

情報サービス提供者が提供する各種サービスをご利用になれます。

1 （L）を押す

トップメニュー画面が表示されます。

2 （方向キー）を押し、「2 メインメニュー」を選び、（セット）を押す

L モードゲートウェイに接続し、メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー
1 L メニューリスト
2 選べるメニューリスト
3 天気予報

メインメニューの例

3 （方向キー）を押し、接続するサイトを選び、（セット）を押す

選んだサイトに接続します。

ディスプレイの上方／下方を見るには

ディスプレイに 1 画面を一度に表示できない場合は、（方向キー）を押してディスプレイの下方を表示することができます。上方に戻るときは、（方向キー）を押します。

リンク先に移動するには

下線が表示されている項目を（方向キー）で選び、（セット）を押すと、別のサイト（リンク先）に移動することができます。WEB TO 機能（2-28 ページ）を使って（方向キー）を押し、URL を選び、（セット）を押すと、同様に別のサイト（リンク先）に移動することができます。

前のサイトに戻るには

（方向キー）または（前画面）を押すと、直前に表示されていたサイトに戻ることができます。

文字を入力するには

文字を入力できるところは、点線の枠や実線の枠のテキストボックスが表示されます。

1 （方向キー）を押し、テキストボックスを選ぶ

テキストボックスが太線で表示されます。

2 （セット）を押す

3 文字を入力し、（セット）を押す

（例）

お名前：

ご住所：

ラジオボタンのついた項目を選ぶには

ラジオボタンとは、選択肢の中から 1 つだけ選ぶことができる項目名の前についているボタンです。
複数の項目の中から 1 つだけ選ぶことができます。

1 （方向キー）を押し、項目を選ぶ

2 （セット）を押す

（例）

○マルチパス
○ファクスホン
○キヤノファクス

○マルチパス
◉ファクスホン
○キヤノファクス

チェックボックスにチェックマークをつけるには

複数の項目の中から複数を選ぶことができます。

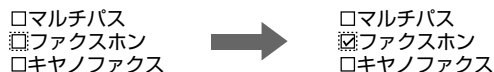
1 **を押し、項目を選ぶ**

2 (セット) **を押す**
チェックマークがつきます。もう一度 (セット) を押すとチェックマークが消えます。

3 **他の項目にもチェックマークをつける場合は、手順1～2を繰り返す**

（例）

□マルチパス
□ファクスホン
□キャノファクス

□マルチパス
☑ファクスホン
□キャノファクス

プルダウンメニューから項目を選ぶには

プルダウンメニューとは、選択肢が隠れている状態で表示されるメニューです。
隠れている複数の項目の中から1つだけ選ぶことができます。

1 **を押し、プルダウンメニューを選ぶ**

2 (セット) **を押す**

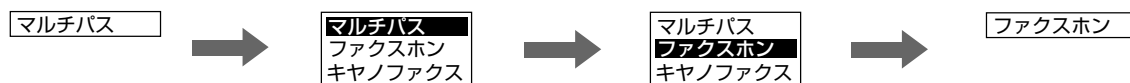
隠れていた項目が表示されます。

3 **を押し、項目を選ぶ**
選んだ項目が反転表示されます。

4 (セット) **を押す**

（例）

マルチパス
ファクスホン
キャノファクス

ファクスホン

メモ

- サイトとは、Lモードでご利用になれる情報やサービスが登録されているページ（場所）です。
- サイトに接続するときに、画像データを表示するかしないかを設定することができます。（2-60ページ）
- サイトによっては、ご利用の前に別途申し込みが必要な場合があります。
- Lモードのサイト以外のインターネットホームページなどは、正しく表示されない場合があります。JPEG、GIFおよびPNG形式以外の画像データは表示されません。JPEG、GIFおよびPNG形式の画像データでも正しく表示されない場合があります。

インターネットホームページを見る（URL 入力）

見たいインターネットホームページのアドレス（URL）を入力するとインターネットに接続し、インターネットホームページを見ることができます。

URLを入力してインターネットホームページを見る

1 を押す

トップメニュー画面が表示されます。

2 を押し、「4 アドレス入力検索」を選び、セット を押す

URL 入力画面が表示されます。

3 セット を押す

文字入力画面が表示されます。

4 0 〜 9 を押し、URL を入力する

文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。

最大半角500文字まで入力できます。

5 もう一度 確定 を押す

URL 入力画面に戻ります。

6 を押し、「OK」を選び、セット を押す

インターネットホームページに接続します。

ストップ を押すと待機画面に戻ります。

表示中のインターネットホームページのURLを確認したり、他のインターネットホームページを表示するには

インターネットホームページを表示中に メニュー を押し、を押し、「⑦ URL 参照／編集」を選び、セット を押すと、URL 入力画面に戻ります。

メモ

- L モード対応のインターネットホームページのみ正しく表示されます。
- データ量が多いインターネットホームページに接続すると、すべての内容を表示できない場合があります。

インターネットホームページの表示を中止するには

「取得中」と表示されているときに セット を押します。

音声ガイドについて

音声情報の付いたホームページによっては、表示したときにその音声情報を読み上げることができます。

音声ガイド機能の設定は、「本機の基本的な動作を設定する」（取扱説明書8-2ページ）の手順にしたがって、「ホームページ読上げ」を選んで操作を行ってください。

マイメニューを使う

よく見るサイト（番組）をマイメニューに登録すると次回からそのサイトに簡単に接続することができます。

マイメニューに登録する

マイメニューへの登録については、NTTの「Lモード使用説明書」をご覧ください。

メモ

- マイメニュー登録にはパスワードが必要です。
- マイメニュー登録ができないサイトもあります。
- マイメニューは、Lモードゲートウェイに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 **(L) を押す**

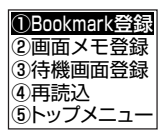
トップメニュー画面が表示されます。

2 **◇ を押し、「3 マイメニュー」を選び、(セット) を押す**

Lモードゲートウェイに接続し、マイメニュー画面が表示されます。

3 **◇ を押し、接続するサイトを選び、(セット) を押す**

選んだサイトに接続します。

メモ

マイメニューからサイトに接続するには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。

ブックマークを使う

お気に入りのサイト（番組）やインターネットホームページをブックマークに登録しておくと簡単にサイトやインターネットホームページに接続することができます。

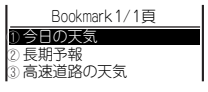
ブックマークを登録する

ブックマークに URL を登録します。
ブックマークには URL を 20 件まで登録できます。

1 登録したいサイトまたはインターネットホームページを表示する

2 メニュー を押す
ページサブメニュー画面が表示されます。

①Bookmark登録
②画面メモ登録
③待機画面登録
④再読込
⑤トップメニュー

3 「① Bookmark 登録」を選び、セット を押す

メモ

- サイトやインターネットホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
- 登録されたサイトやホームページは、Bookmark 一覧にはタイトルまたは URL で表示されます。
- すでに登録されている URL を再度登録しても別の URL として登録されます。
- ブックマークは本機に登録されます。

「Bookmark が一杯です。削除してください。」と表示された場合は
すでに 20 件登録されています。不要なブックマークを削除（2-23 ページ）してから登録し直してください。

ブックマークからサイトを表示する

ブックマークに登録したサイトやインターネットホームページを表示します。

1 i を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 ◎ を押し、「6 Bookmark」を選び、セット を押す
Bookmark 一覧画面が表示されます。

Bookmark 1/1頁
① 今日の天気
② 長期予報
③ 高速道路の天気

3 ◎ を押し、表示するサイトまたはインターネットホームページを選び、セット を押す
「接続中」、「取得中」と表示された後、サイトまたはインターネットホームページが表示されます。

メモ

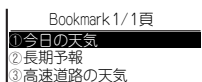
◎ を押すと隠れているブックマークを表示することができます。

「Bookmark はありません。」と表示された場合は
ブックマークに 1 件も登録されていません。

ブックマークのタイトル／URLを編集する

1 を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 を押し、「6 Bookmark」を選び、セット を押す
Bookmark 一覧画面が表示されます。

Bookmark 1/1頁
①今日の天気
②長期予報
③高速道路の天気

3 を押し、編集するブックマークを選ぶ

タイトル編集のときは

4 タイトル編集 を押す

5 セット を押す
文字入力画面が表示されます。

6 タイトルを編集する
文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。
最大全角8文字、半角16文字まで入力できます。

7 確定 を押す

8 を押し、「OK」を選び、セット を押す

URL 編集のときは

4 メニュー を押す
Bookmark サブメニュー画面が表示されます。

5 を押し、「② URL編集」を選び、セット を押す

6 セット を押す
文字入力画面が表示されます。

7 URL を編集する
文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。
最大半角 500 文字まで入力できます。

8 確定 を押す

9 を押し、「OK」を選び、セット を押す

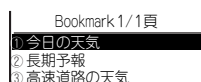
メモ

タイトルを編集してもBookmark一覧画面で表示される順番は変わりません。

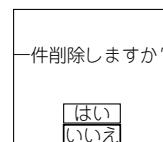
登録したブックマークを削除する

1 を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 を押し、「6 Bookmark」を選び、セット を押す
Bookmark 一覧画面が表示されます。

Bookmark 1/1頁
①今日の天気
②長期予報
③高速道路の天気

3 を押し、削除するブックマークを選ぶ

4 削除 を押す
確認画面が表示されます。

一件削除しますか？
はい
いいえ

5 を押し、「はい」を選び、セット を押す
ブックマークが削除され、Bookmark一覧画面に戻ります。
ブックマークをすべて削除するには、メニュー を押し、 を押し、「④ 全件削除」を選び、セット を押します。

画面メモを使う

サイトやインターネットホームページで気に入ったページがあった場合は、画面メモとして登録し、保存することができます。画面メモは４件まで登録することができます。

画面メモに登録する

1 **登録したいサイトまたはインターネットホームページを表示する**

2 **メニュー を押す**

ページサブメニュー画面が表示されます。

①Bookmark登録
②画面メモ登録
③待機画面登録
④再読込
⑤トップメニュー

3 **を押し、「② 画面メモ登録」を選び、セット を押す**

画面メモに登録され、サイトまたはインターネットホームページのページに戻ります。

メモ

- 画面メモには文字データ、画像データ、およびリンクの情報が保存されます。画面メモでリンク先を選び、セット を押すと自動的にLモードゲートウェイに接続し、リンク先のページが表示されます。
- 登録した画面メモに10個以上のJPEG、GIFおよびPNG形式の画像データがある場合、すべての画像データを保存できないことがあります。
- サイトやインターネットホームページで入力した文字や設定は、画面メモに登録されません。

「満杯です。」と表示された場合は
すでに４件登録されています。不要な画面メモを削除（2-25ページ）してから登録し直してください。

画面メモを表示する

画面メモに登録されているページを表示します。

1 **を押す**

トップメニュー画面が表示されます。

2 **を押し、「5 画面メモ」を選び、セット を押す**

画面メモ一覧が表示されます。

3 **を押し、表示したい画面メモを選び、セット を押す**

今日の天気
<○○市>
天気：晴れ☀
降水確率：１０％

画面メモが表示されます。

メモ

画面メモに登録された情報は、登録したときの情報です。最新の情報と異なる場合があります。

「画面メモなし。」と表示された場合は
登録されている画面メモがありません。

画面メモを削除／プリントする

1 プリントする場合は、ディスプレイで現在セットされているＢＪカートリッジの種類を確認する（取扱説明書 1-5 ページ）

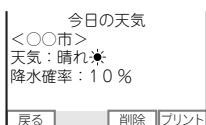
カラーでプリントしたい場合は、カラーＢＪカートリッジ BC-11eをセットします。セットのしかたについて詳しくは取扱説明書1-19ページをご覧ください。

2 （メニューボタン） を押す

トップメニュー画面が表示されます。

3 （方向ボタン） を押し、「5 画面メモ」を選び、（セット） を押す

画面メモ一覧が表示されます。

4 （方向ボタン） を押し、削除／プリントしたい画像メモを選び、（セット） を押す

画面メモが表示されます。

今日の天気
<○○市>
天気：晴れ☀
降水確率：１０％
戻る　削除　プリント

削除するときは

5 （削除） を押す

確認画面が表示されます。

一件削除しますか？
はい
いいえ

6 （方向ボタン） を押し、「はい」を選び、（セット） を押す

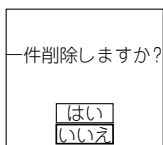
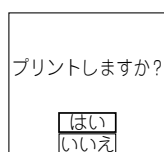
プリントするときは

5 （プリント） を押す

確認画面が表示されます。

プリントしますか？
はい
いいえ

6 「はい」を選び、（セット） を押す

メモ

カラープリントをした場合、十分に表現できない色もあります。

画面メモの画像を待機画面に登録する

1 （メニューボタン） を押す

トップメニュー画面が表示されます。

2 （方向ボタン） を押し、「5 画面メモ」を選び、（セット） を押す

画面メモ一覧が表示されます。

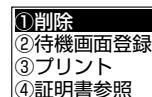
3 （方向ボタン） を押し、登録したい画像メモを選び、（セット） を押す

画面メモが表示されます。

4 （メニュー） を押す

画面メモサブメニュー画面が表示されます。

①削除
②待機画面登録
③プリント
④証明書参照

5 （方向ボタン） を押し、「② 待機画面登録」を選び、（セット） を押す

6 （セット） を押す

メモ

- 画面メモによっては、「登録できる画像データがありません。」と表示されて、待機画面に登録できない場合があります。
- 画像は、１件のみ登録できます。待機画面登録の操作を行うたびに新しい画像に上書きされます。

表示しているページをプリントする

表示しているサイトやインターネットホームページのページをプリントすることができます。

1 ディスプレイで現在セットされているＢＪ カートリッジの種類を確認する
（取扱説明書 1-5 ページ）

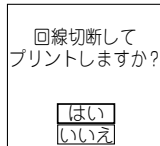
カラーでプリントしたい場合は、カラーＢＪ カートリッジBC-11eをセットします。セットのしかたについて詳しくは取扱説明書1-19ページをご覧ください。

2 プリントしたいサイトまたはインターネットホームページを表示する

3 プリント を押す

回線切断して
プリントしますか?
はい
いいえ

4 「はい」を選び、セット を押す

メモ

カラープリントをした場合、十分に表現できない色もあります。

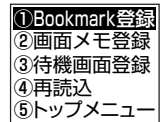
表示を更新して最新情報を見る（再読込）

サイトやインターネットホームページを表示中に再読込をすると表示されているページが最新情報に更新されます。サイトやインターネットホームページが正常に表示されなかった場合も再読込をしてください。

1 サイトまたはインターネットホームページを表示する

2 メニュー を押す

ページサブメニュー画面が表示されます。

①Bookmark登録
②画面メモ登録
③待機画面登録
④再読込
⑤トップメニュー

3 を押し、「④ 再読込」を選び、セット を押す

ページが最新情報に更新されます。

メモ

自動的に再読込はされません。

画面上の電話番号／アドレス／URL／ファクス番号を利用する

サイト、インターネットホームページ、画面メモ、メールに表示されている電話番号、メールアドレス、URL、ファクス番号などを利用して簡単に電話をかけたり、メールを送信したり、サイトやインターネットホームページに接続したり、ファクスを受信することができます。

PHONE TO機能を使う

表示されている電話番号に電話をかけます。

1 サイトやメールなどを表示中に ◎ を押し、電話番号を選ぶ

電話番号が反転表示されます。

TEL:0312345678
FAX:03 23456789
mail to:ttttt@abc
URL:http://xxx.xx.jp

2 (セット) を押す

電話をかけてもよいか確認画面が表示されます。

電話番号は必ず確認してください。

0312345678
に発信しますか？
はい
いいえ

3 「はい」を選び、(セット) を押す

電話番号を自動的にダイヤルします。

4 相手が出たら、受話器を取って話す

5 終わったら、受話器を元に戻す

メモ

- PHONE TO機能を使って電話をかける場合は、必ず電話番号を確認してください。海外やダイヤルQ²の電話番号につながり、高額の通話料金がかかる場合があります。
- サイトやメールによっては、電話番号が反転表示されない場合があります。その場合、上記の操作で電話をかけることはできません。
- Lモードゲートウェイに接続している場合は、自動的にLモードゲートウェイとの接続を切断してから電話をかけます。

MAIL TO機能を使う

表示されているメールアドレス宛にメールを送信します。

1 サイトやメールなどを表示中に ◎ を押し、メールアドレスを選ぶ

メールアドレスが反転表示されます。

TEL:0312345678
FAX:0323456789
mail to :ttttt@abc
URL:http://xxx.xx.jp

2 (セット) を押す

メールを作成するか確認画面が表示されます。

メールを
作成しますか？
はい
いいえ

3 「はい」を選び、(セット) を押す

センタとの接続を
切断しますか？
はい
いいえ

4 「はい」を選び、(セット) を押す

メール作成画面が表示されます。

メールアドレスは必ず確認してください。

題名
本文

5 題名や本文を入力して送信する

「新規メールを作成して送信する」（2-31ページ）をご覧ください。

メモ

- サイトやメールによっては、メールアドレスが反転表示されない場合があります。その場合、上記の操作でメールを送信することはできません。
- 手順４でＬモードゲートウェイとの接続を切断しない場合は、メール作成中も通信料金がかかります。

「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、新規メールを作成することができません。未送信メールを送信するか（2-38ページ）、不要なメールを削除（2-34、2-37ページ）してから操作をやり直してください。

画面上の電話番号／アドレス／ URL ／ファクス番号を利用する（つづき）

WEB TO機能を使う

表示されている URL に接続します。

1 **サイトやメールなどを表示中に ◎ を押し、URL を選ぶ**

URL が反転表示されます。

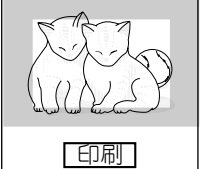
TEL:0312345678
FAX:0323456789
mail to:ttttt@abc
URL:http://xxx.xx.jp

2 **セット を押す**

接続するとページが表示されます。

メモ

- サイトやメールによっては、URL が反転表示されない場合があります。その場合、上記の操作でサイトへの接続はできません。
- L モードのサイト以外のインターネットホームページなどは、正しく表示されない場合があります。

Lメールで画像を受信する（写真Lメール）

画像付きのメールが送られてきた場合は、画像への URL をメールで受信します。（2-3 ページ）

1 **送られてきたメールを表示中（2-46 ページ）に ◎ を押し、URLを選ぶ**

URL が反転表示されます。

2 **セット を押す**

送られてきた画像の内容が画面に表示されます。コンテンツ（2-29ページ）によっては表示されない場合があります。
画像は本機の画面表示能力に合わせてLモードゲートウェイで自動的に変換されて表示されます。

3 **「印刷」を選び、セット を押す**

画像の印刷が始まります。印刷について、詳しくはコンテンツ印刷（2-29 ページ）をご覧ください。

メモ

- プレビュー画面は画面メモとして保存できます。（2-24 ページ）
- 実際に相手から送られてきた画像は、印刷することはできますが、保存することはできません。
- L モードゲートウェイでの保存期間は 14 日間です。14 日間を過ぎると自動的に削除されます。（L モードゲートウェイでの画像保存容量は 3MB です。）
- 添付画像として受けられる画像ファイル形式は、JPEG、PNG、TIFF（プロファイル S）です。また 200KB を超えるような画像を受けることはできません。
- 送られてきた画像によっては、見えにくい場合があります。
- 添付画像として受けられる画像ファイルはメール 1 通につき 1 つです。
- 写真 L メールサービスの開始時期は 2003 年夏以降です。

FAX TO機能を使う

表示されているファクス番号からファクスを受信します。

1 **サイトやメールなどを表示中に ◎ を押し、ファクス番号を選ぶ**

ファクス番号が反転表示されます。

TEL:0312345678
FAX:0323456789
mail to:ttttt@abc
URL:http://xxx.xx.jp

2 **セット を押す**

ファクス番号に電話をかけてもよいか確認画面が表示されます。ファクス番号は必ず確認してください。

はい
いいえ

3 **「はい」を選び、セット を押す**

ファクス番号に自動的にダイヤルします。

4 **アナウンスにしたがって操作する**

アナウンスがない場合もあります。

5 **ファクス受信/プリント を押す**

メモ

- サイトやメールによっては、ファクス番号が反転表示されない場合があります。その場合、上記の操作でファクスを受信することはできません。
- L モードゲートウェイに接続している場合は、自動的に L モードゲートウェイとの接続を切断してからファクス番号に電話をかけます。

コンテンツ印刷をする

画面表示で確認することができない詳細な情報など（コンテンツ）を、サイトやインターネットホームページから直接ダウンロードし、印刷することができます。画面は、サイトやインターネットホームページによって異なります。表示された画面にしたがい、操作を行ってください。

1 コンテンツ印刷対応のサイトまたはインターネットホームページを表示する

レストランガイド
レストランキヤノン
地図はこちらです。
プリンタ出力

2 を押し、印刷表示を選び、(セット) を押す

ファイルのダウンロードが始まります。「取得中」と表示された後、印刷を確認する画面が表示されます。
ダウンロードには、数分時間がかかる場合があります。

3 (はい) を押す

ダウンロードを中止するには

手順2で「取得中」と表示されているときに、(セット) を押します。

印刷を中止するには

「○○ページ印刷中」と表示されているときに、 を押します。

メモ

- ダウンロードしたコンテンツをカラーで印刷したいときは、カラーBJ カートリッジをセットしてください。
- コンテンツ印刷の印字範囲は、コピー範囲の設定（取扱説明書5-4ページ）により、縦のコピー範囲を「広く」に設定できます。ただし、記録用紙送りの精度が低下するため、記録用紙の下端部分が正常にプリントされないことがあります。

暗号化（SSL）サイトを見る

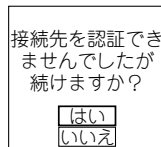
暗号化サイトとは、データを暗号化して送受信（暗号化通信）することで、通信途中での第三者によるデータの盗み見や書き換え、なりすましを防ぐことができる安全性の高いサイト／インターネットホームページのページのことです。
暗号化サイトでは、クレジットカード番号や住所など、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。
暗号化通信を行うときは、必ず日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください。（取扱説明書1-40ページ）

1 暗号化対応のサイトまたはインターネットホームページを表示する

2 暗号化ページが終わり、「暗号化ページを終了します」と表示されたら、「OK」を選び、(セット) を押す

暗号化サイト／インターネットホームページが表示できないとき

暗号化サイトの証明書（本人であることを証明するための情報）または本機の証明書の有効期限が切れていたり、本機の日付・時刻が正しく設定されていないと、手順1で右記の画面が表示されます。

接続先を認証できませんでしたが続けますか？
はい
いいえ

証明書による認証を省略して暗号化通信を行う場合は、「はい」を選び、(セット) を押します。
を押し、「いいえ」を選び、(セット) を押すと、暗号化通信を中止して1つ前の画面に戻ることができます。

メモ

Lモードの暗号化通信は、SSL（Secure Socket Layer）という認証／暗号技術を使用しています。

サイトから着信メロディをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからお好みの着信メロディのデータをダウンロードし、親機の呼出音としてご利用になれます。

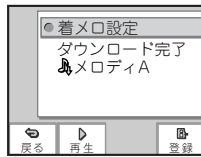
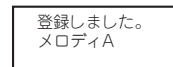
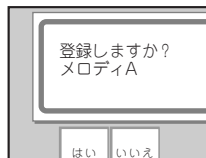
メロディをダウンロードする

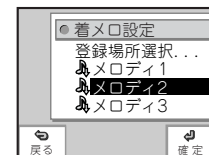
1 サイトまたはインターネットホームページを表示する（2-18～2-20ページ）

2 着信メロディをダウンロードする
着信メロディのダウンロードのしかたは、サイトにより異なります。

3 [登録] を押す

4 [はい] を押す

登録しました。
メロディA

登録場所選択画面が表示された場合は

すでに3曲の着信メロディが登録されています。[方向キー] を押し、消去してもいい曲を選び、[確定] を押してください。新しくダウンロードした曲に置き換わります。

曲を試聴するには
手順２の後、[再生] を押します。再生を止めるには、[停止] を押してください。

試聴を目的としたサイトからダウンロードした着信メロディは、著作権により保護されているので、保存できない場合があります。

ダウンロードした着信メロディを呼出音に設定する

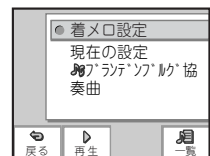
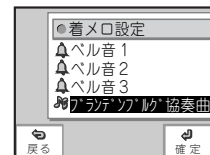
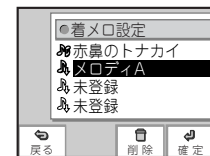
Ｌモードゲートウェイに接続している場合は、切断してから操作を行ってください。

1 [メニュー] を押す

2 [方向キー] を押し、「着信設定」を選び、[セット] を押す

3 [1] を押し、「着メロ設定」を選ぶ

4 「する」を選び、[セット] を押す

5 [登録] を押す
現在、設定している呼出音が表示されます。

6 [一覧] を押す
呼出音一覧が表示されます。

7 [方向キー] を押し、呼出音を選ぶ
呼出音については、下記の表をご覧ください。

8 [確定] を押す

呼出音	
ベル音１	森のくまさん
ベル音２	赤鼻のトナカイ
ベル音３	ダウンロードした着信メロディ1*
ブランデンブルグ協奏曲	ダウンロードした着信メロディ2*
くるみ割り人形	ダウンロードした着信メロディ3*
クレオパトラの夢	

* ダウンロードした曲が登録されていない場合は、「未登録」と表示されます。

呼出音を再生するには
手順５の後、[再生] を押します。再生を止めるには、[停止] を押してください。

ダウンロードした呼出音を削除するには
手順７で削除する呼出音を選び、[削除] を押した後、[はい] を押してください。

- [戻る] を押すと、登録または確定は行われません。
- ダウンロードして登録された着信メロディのみ削除することができます。

親機でメールを送信する

新規メールを作成して送信する（新規メール作成）

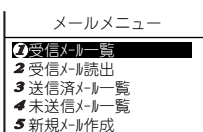
メールを送信する最も基本的な方法は、新規でメールを作成して送信する方法です。送信したメールは、送信済メール一覧（2-34 ページ）に保存されるので、後で読み直すこともできます。

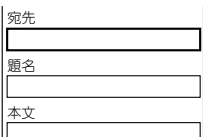
文字の入力のしかたについては「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。

1 （ボタン）を押す

トップメニュー画面が表示されます。

2「1 メール」を選び、（セット）を押す

メールメニュー画面が表示されます。

3 （カーソル）を押し、「5 新規メール作成」を選び、（セット）を押す

メール作成画面が表示されます。

4「宛先」テキストボックスを選び、（セット）を押す

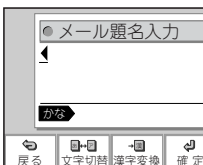
宛先入力画面が表示されます。

5 宛先（送信先のメールアドレス）を入力する

最大半角50文字まで入力できます。

6 （確定）を押す

メール作成画面に戻ります。

7 （カーソル）を押し、「題名」テキストボックスを選び、（セット）を押す

題名入力画面が表示されます。

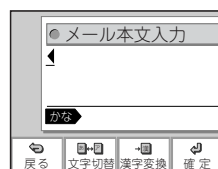
8 題名を入力する

最大全角30文字、半角60文字まで入力できます（定型文含む）。

9 （確定）を押す

メール作成画面に戻ります。

10 （カーソル）を押し、「本文」テキストボックスを選び、（セット）を押す

本文入力画面が表示されます。

11 本文を入力する

最大全角500文字、半角1000文字まで入力できます（定型文含む）。

12 （確定）を押す

メール作成画面に戻ります。

13 （送信）を押す

L モードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。

14「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、（セット）を押す

親機でメールを送信する（つづき）

電話帳を使って宛先を入力するには

手順４の後、電話帳呼出 を押します。◇ を押し、「✉ メール」マークのついている送信相手を選び、セット を押します。手順７以降の操作をします。

宛先、題名、本文を修正するには

メール作成画面が表示されているときに、◇ を押し、修正したい項目を選び、セット を押します。修正が終わったら、確定 を押します。その後、送信 を押してメールを送信します。

作成したメールを保存するには

手順 12 の後、保存 を押します。
または、保存 のかわりに メニュー を押し、◇ を押し、「② 保存」を選び、セット を押して保存することもできます。

定型文を使って文字を入力するには

「こんにちは」、「ありがとう」などのよく使われる文を簡単に入力することができます。宛先、題名、本文の文字入力画面で 文字切替 を押し、「定型」を選びます。◇ を押し、入力する定型文を選び、セット を押します。

送信を中止するには

手順 13 で「接続中」と表示されているときに、セット を押します。

お願い

L モード対応の電話機／ファクス以外にメールを送信する場合は、半角カタカナ、絵文字は使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メモ

- メール送信中は、電話をかけることができません。
- L モードゲートウェイ接続中にキャッチホンを受信した場合、回線が切断される場合があります。
- 送信エラーで送信できなかったメールや送信する前に保存したメールは、未送信メール一覧に保存されます。（2-37 ページ）
- メールを作成中に着信があると、作成中のメールが自動的に保存されて、親機と子機の呼出音が鳴ります。通話終了後、メールの操作を行うと、「編集途中のメールがあります」と表示されます。「編集を再開する」または「破棄する」を選んでください。「編集を再開する」を選んだ場合は、メール作成画面が表示されます。
- 手順 12 の後、メニュー を押し、「① 送信」を選び、セット を押して送信することもできます。

メールが送信できるか確認するには

新規メールを作成して、宛先には本機のメールアドレスを指定します。送信した後、「親機でメールを受信する」（2-46ページ）の操作をします。

「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が 30 件になると、新規メールを作成することができません。未送信メールを送信するか（2-38 ページ）、不要なメールを削除（2-34、2-37 ページ）してから操作をやり直してください。

イラストLメールを送信する

写真や原稿（A4 サイズまで）を読み取り、メールで簡単に送ることができます。
写真Ｌメールサービスの開始時期は 2003 年夏以降です。

文字の入力のしかたについては「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。

1 [イラストLメール] を押す

イラストLメール作成画面が表示されます。
2回目からは、前回送信した宛先と題名が表示されます。表示された宛先と題名のままでよい場合は、手順 6 に進みます。

2 [宛先] を押す

宛先入力画面が表示されます。

3 宛先を入力したら、[確定] を押す

最大半角50文字まで入力できます。

4 [題名] を押す

題名入力画面が表示されます。

5 題名を入力したら、[確定] を押す

最大全角 30 文字、半角 60 文字まで入力できます（定型文含む）。

6 写真や原稿をセットする

原稿入口にウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。

7 [読取幅] を押す

原稿のサイズを指定します。ボタンを押すごとに、「写真L判縦」→「写真Ｌ判横」→「A4」と切り替わります。

9 [メール送信] を押す

原稿を読み終わった後、メールが送信されます。

メモ

- 相手機種および読み取る原稿によっては、画像が見えにくい場合や、相手が正しく受信できない場合があります。
- 一度送信した写真や画像は、再送信できません。送信したメールの本体は、送信済メール一覧（2-34 ページ）に保存されますが、写真や画像は自動的に削除されます。
- Ｌモードゲートウェイでのメール保存期間は 14日間です（本機から携帯電話に送信した場合のみ）。14日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
- 電話回線の通信状況によりメールの送信ができなかった場合や、送信を中止した場合でも、通話料が発生します。送信できなかったメールの本体は未送信メール一覧（2-37 ページ）に保存され、写真や画像は自動的に削除されます。再度、同じイラストＬメールを送信する場合は、手順 1 から操作をやり直してください。
- 送信には数分かかることがあります。
- 本機のイラストＬメール送信は、NTT 東日本／ NTT 西日本の写真Ｌメールを利用しています。

親機で送信済メール一覧を使う

送信したメールは、送信済メール一覧に保存されます。送信済メール一覧から、内容を修正して送信したり、他の相手に送信することができます。

送信済メールの内容を確認する

送信済メール一覧から内容を確認するメールを選びます。

1 を押す

トップメニュー画面が表示されます。

2「1 メール」を選び、(セット) を押す

メールメニュー画面が表示されます。

3 (◇) を押し、「3 送信済メール一覧」を選び、(セット) を押す

送信済メール一覧画面が表示されます。

4 (◇) を押し、内容を確認する送信済メールを選び、(セット) を押す

送信済メールの内容が表示されます。

5 確認が終わったら、[戻る] を押す

送信済メール一覧画面に戻ります。

送信済メールを削除／プリントする

1「送信済メールの内容を確認する」の手順１～３と同様の操作を行う

送信済メール一覧画面が表示されます。

2 (◇) を押し、削除／プリントする送信済メールを選び、(セット) を押す

送信済メールの内容が表示されます。

削除するときは

3 [削除] を押す

確認画面が表示されます。

4 (◇) を押し、「はい」を選び、(セット) を押す

プリントするときは

3 [プリント] を押す

確認画面が表示されます。

4「はい」を選び、(セット) を押す

送信済メールを一括削除するには

手順１の後、[メニュー] を押し、(◇) を押し、「④ 全件削除」を選び、(セット) を押します。(◇) を押し、「はい」を選び、(セット) を押します。

メモ

送信済メールの内容にカラーの絵文字などが含まれている場合も、白黒でプリントされます。

送信先のメールアドレスを電話帳に登録する

送信先のメールアドレスを簡単な操作で親機の電話帳に登録することができます。メールアドレスは最大100件まで登録することができます。

1 「送信済メールの内容を確認する」（2-34ページ）の手順1～3と同様の操作を行う

送信済メール一覧画面が表示されます。

2 を押し、メールアドレスを登録するメールを選び、(セット)を押す

送信済メールの内容が表示されます。

```
09/01 12:00
ttttt@abc
こんにちは
こんにちは
お久しぶりです。
```

3 (メニュー)を押す

①再編集
②電話帳登録
③削除
④プリント

4 を押し、「② 電話帳登録」を選び、(セット)を押す

手順2の画面に戻ります。電話帳登録画面のなまえに「名前未登録」、メールアドレスに送信先のメールアドレスが自動的に入力されます。

```
09/01 12:00
ttttt@abc
こんにちは
こんにちは
お久しぶりです。
```

5 必要に応じて電話帳の編集をする

電話帳の編集のしかたについては、「電話帳に登録する」（取扱説明書 2-8 ページ）をご覧ください。

メモ

「メモリがありません」と表示された場合は

すでに電話帳が 100 件登録されています。不要な電話帳を削除してください。（取扱説明書 2-10 ページ）

親機で送信済メール一覧を使う（つづき）

送信済メールを編集して送信する

送信済メールの宛先、題名、本文を編集して送信することができます。

1 「送信済メールの内容を確認する」（2-34ページ）の手順１～３と同様の操作を行う

送信済メール一覧画面が表示されます。

2 を押し、編集する送信済メールを選ぶ

3 再編集 を押す

編集メール作成画面が表示されます。

宛先
ttttt@abc
題名
こんにちは
本文
こんにちは

4 を押し、編集するテキストボックスを選ぶ

5 セット を押す

文字入力画面が表示されます。

6 内容を編集する

文字の入力のしかたについては「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。

7 確定 を押す

メール作成画面に戻ります。

8 送信 を押す

L モードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。

9 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、セット を押す

編集した送信済メールを保存するには

手順７の後、保存 を押します。

または、保存 のかわりに メニュー を押し、 を押し、「② 保存」を選び、セット を押して保存することもできます。

送信を中止するには

手順８で「接続中」と表示されているときに、セット を押します。

メモ

手順７の後、メニュー を押し、「① 送信」を選び、セット を押して送信することもできます。

親機で未送信メール一覧を使う

保存したメールや送信できなかったメールは、未送信メール一覧に保存されます。未送信メール一覧から、内容を修正して送信したり、他の相手に送信することができます。

保存していた未送信メールの内容を確認する

未送信メール一覧から内容を確認するメールを選びます。

1 （i）を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 「1 メール」を選び、（セット）を押す
メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー
1 受信メール一覧
2 受信メール読出
3 送信済メール一覧
4 未送信メール一覧
5 新規メール作成

3 （カーソル）を押し、「4 未送信メール一覧」を選び、（セット）を押す
未送信メール一覧画面が表示されます。

未送信メール一覧 1/1頁
こんにちは
お元気ですか?

4 （カーソル）を押し、内容を確認する未送信メールを選び、（セット）を押す
未送信メールの内容が表示されます。

ttttt@abc
こんにちは
こんにちは
お久しぶりです。

5 確認が終わったら、（戻る）を押す
未送信メール一覧画面に戻ります。

未送信メールを削除／プリントする

1 「保存していた未送信メールの内容を確認する」の手順1～3と同様の操作を行う
未送信メール一覧画面が表示されます。

2 （カーソル）を押し、削除／プリントする未送信メールを選び、（セット）を押す
未送信メールの内容が表示されます。

ttttt@abc
こんにちは
こんにちは
お久しぶりです。
戻る　編集　送信　削除

削除するときは

3 （削除）を押す
確認画面が表示されます。

4 （カーソル）を押し、「はい」を選び、（セット）を押す

プリントするときは

3 （メニュー）を押す

4 （カーソル）を押し、「⑤ プリント」を選び、（セット）を押す
確認画面が表示されます。

5 「はい」を選び、（セット）を押す

未送信メールを一括削除するには

手順1の後、（メニュー）を押し、（カーソル）を押し、「④ 全件削除」を選び、（セット）を押します。（カーソル）を押し、「はい」を選び、（セット）を押します。

メモ

未送信メールの内容にカラーの絵文字などが含まれている場合も、白黒でプリントされます。

親機で未送信メール一覧を使う（つづき）

送信先のメールアドレスを電話帳に登録する

送信先のメールアドレスを簡単な操作で親機の電話帳に登録することができます。メールアドレスは最大 100 件まで登録することができます。

1 「保存していた未送信メールの内容を確認する」（2-37ページ）の手順1～3と同様の操作を行う

未送信メール一覧画面が表示されます。

2 を押し、メールアドレスを登録するメールを選び、セット を押す

未送信メールの内容が表示されます。

tttt@abc
こんにちは

こんにちは
お久しぶりです。

3 メニュー を押す

①編集
②送信
③削除
④電話帳登録
⑤プリント

4 を押し、「④ 電話帳登録」を選び、セット を押す

手順2の画面に戻ります。電話帳登録画面のなまえに「名前未登録」、メールアドレスに送信先のメールアドレスが自動的に入力されます。

tttt@abc
こんにちは

こんにちは
お久しぶりです。

5 必要に応じて電話帳の編集をする

電話帳の編集のしかたについては、「電話帳に登録する」（取扱説明書2-8ページ）をご覧ください。

メモ

「メモリがありません」と表示された場合は

すでに電話帳が 100 件登録されています。不要な電話帳を削除してください。（取扱説明書 2-10 ページ）

保存していた未送信メールを送信する

未送信メール一覧から未送信メールを選んで送信します。編集してから送信する場合は、「未送信メールを編集して送信する」（2-39 ページ）をご覧ください。

1 「保存していた未送信メールの内容を確認する」（2-37ページ）の手順1～3と同様の操作を行う

未送信メール一覧画面が表示されます。

2 を押し、送信する未送信メールを選び、セット を押す

未送信メールの内容が表示されます。

tttt@abc
こんにちは

こんにちは
お久しぶりです。

3 送信 を押す

Lモードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。

4 「送信完了　切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、セット を押す

未送信メールを一括送信するには

手順 1 の後、メニュー を押します。を押し、「② 全件送信」を選び、セット を押します。「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、セット を押します。

送信を中止するには

手順３で「接続中」と表示されているときに、セット を押します。

未送信メールを編集して送信する

未送信メールの宛先、題名、本文を編集して送信することができます。

1 「保存していた未送信メールの内容を確認する」（2-37ページ）の手順１～３と同様の操作を行う

未送信メール一覧画面が表示されます。

2 を押し、編集する未送信メールを選ぶ

3 編集 を押す

編集メール作成画面が表示されます。

4 を押し、編集するテキストボックスを選ぶ

5 セット を押す

文字入力画面が表示されます。

6 内容を編集する

文字の入力のしかたについては「文字入力について」（2-6ページ）をご覧ください。

7 確定 を押す

メール作成画面に戻ります。

8 送信 を押す

Lモードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。

9 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、セット を押す

編集した未送信メールを保存するには

手順７の後、保存を押します。

または、保存のかわりにメニューを押し、を押し、「② 保存」を選び、セット を押して保存することもできます。

送信を中止するには

手順８で「接続中」と表示されているときに、セット を押します。

メモ

手順７の後、メニューを押し、「① 送信」を選び、セット を押して送信することもできます。

子機でメールを送信する

新規メールを作成して送信する（新規メール作成）

メールを送信する最も基本的な方法は、新規でメールを作成して送信する方法です。送信したメールは、送信済メール一覧（2-42ページ）に保存されるので、後で読み直すこともできます。

[外線] が消灯している状態で操作してください。
文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-14 ページ）をご覧ください。

1 [メニュー/セット] を押す
メインメニューが表示されます。

2 「メール」を選び、[メニュー/セット] を押す
メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー
受信メール　15件
送信済メール　4件
未送信メール　3件

3 [▲▼] を押し、「新規メール作成」を選び、[メニュー/セット] を押す
メール作成画面が表示されます。

メール作成
宛先>
題名>
本文>

4 「宛先」を選び、[メニュー/セット] を押す

宛先？
マニュアル入力
アドレス検索

5 「マニュアル入力」を選び、[メニュー/セット] を押す
宛先入力画面が表示されます。

宛先入力
英

6 宛先（送信先のメールアドレス）を入力する
最大半角50文字まで入力できます。

7 [メニュー/セット] を押す
メール作成画面に戻ります。

8 [▲▼] を押し、「題名」を選び、[メニュー/セット] を押す
題名入力画面が表示されます。

題名入力
>
漢

9 題名を入力する
最大全角30文字、半角60文字まで入力できます。

10 [メニュー/セット] を押す
メール作成画面に戻ります。

11 [▲▼] を押し、「本文」を選び、[メニュー/セット] を押す
本文入力画面が表示されます。

12 本文を入力する
最大全角500文字、半角1000文字まで入力できます。

13 [メニュー/セット] を押す
メール作成画面に戻ります。

14 [▲▼] を押し、「送信」を選び、[メニュー/セット] を押す
L モードゲートウェイに接続します。「メール送信中」と表示された後、メールが送信されます。

メール送信中
中止

15 「メールを送信しました」と表示されたら、[メニュー/セット] を押す

親機の電話帳に登録された宛先を選ぶには

手順4の後、を押し、「アドレス検索」を選び、を押します。を押し、送信する宛先を選び、を押します。

宛先、題名、本文を修正するには

メール作成画面が表示されているときに、を押し、修正したい項目を選び、を押します。修正が終わったら、を押します。その後、を押し、「送信」を選び、を押してメールを送信します。

作成したメールを保存するには

手順13の後、を押し、「保存」を選び、を押します。

送信を中止するには

手順14で「メール送信中」と表示されているときに、を押します。

お願い

Lモード対応の電話機／ファクス以外にメールを送信する場合は、絵文字は使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メモ

- 子機でメールを作成・送信中は、親機や他の子機で電話をかけることはできません。
- 送信エラーで送信できなかったメールや送信する前に保存したメールは、未送信メール一覧に保存されます。（2-44ページ）
- Lモードゲートウェイ接続中にキャッチホンを受信した場合、回線が切断される場合があります。
- Lモードゲートウェイとの接続にパスワードが設定されているときは、親機でパスワードを保存しておかないと、子機でメールを送信することができません。詳しくはNTTの「Lモード使用説明書」をご覧ください。
- 子機でメールを作成中に着信があると、作成中のメールが自動的に保存されて、親機と子機の呼出音が鳴ります。通話終了後、再度その子機でメールの操作を行うと、「編集途中のメールがあります」と表示されます。「編集を再開する」または「破棄する」を選んでください。「編集を再開する」を選んだ場合は、メール作成画面が表示されます。
- 親機の電話帳に登録されたメールアドレスを宛先に選んだ場合、親機の電話帳のなまえに使用されている半角記号（2-7ページ）のうち@；, ` ^ +￥＄％ {}” ~ | は、子機のメール作成画面には表示されません。
- 親機の電話帳のなまえに小文字のアルファベットが使用されている場合、子機のメール作成中のアドレス検索画面には大文字で表示されます。

メールが送信できるか確認するには

新規メールを作成して、宛先には本機のメールアドレスを指定します。送信した後、「子機でメールを受信する」（2-53ページ）の操作をします。

「送信メールが一杯です」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、新規メールを作成することができません。未送信メールを送信するか（2-44ページ）、不要なメールを親機で削除（2-34、2-37ページ）してから操作をやり直してください。

「通信に失敗しました」と表示された場合は

メールが送信されていません。送信されなかったメールは、未送信メール一覧に保存されます。（2-44ページ）

「パスワードあり親機で受信してください」「パスワードあり親機から送信してください」と表示された場合は

親機でパスワード設定をしてください。さらに保存も必要です。（電源プラグを電源コンセントから抜いたり、停電になるとパスワードは消去されます。）詳しくはNTTの「Lモード使用説明書」をご覧ください。

子機で送信済メール一覧を使う

送信したメールは、送信済メール一覧に保存されます。送信済メール一覧から、内容を修正して送信したり、他の相手に送信することができます。

送信済メールの内容を確認する

送信済メール一覧から内容を確認するメールを選びます。

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 **（メニュー/セット）を押す**
メインメニューが表示されます。

2 **「メール」を選び、（メニュー/セット）を押す**
メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー	
受信メール	15件
送信済メール	4件
未送信メール	3件

3 **（▲▼）を押し、「送信済メール」を選び、（メニュー/セット）を押す**
送信済メール一覧画面が表示されます。

送信済メール　4件
こんにちは
お元気ですか？
ハロー

4 **（▲▼）を押し、内容を確認する送信済メールを選び、（メニュー/セット）を押す**
送信済メールの内容が表示されます。
（◀▶）を押すと、前後のメールを見ることができます。

送信済メール　1/ 4
9/ 1 12:00
To tttttt@abc
こんにちは

5 **確認が終わったら、（切）を押す**

メモ

子機で送信済メールの内容を表示すると、送信済メール一覧に戻ることはできません。

送信済メールを編集して送信する

送信済メールの宛先、題名、本文を編集して送信することができます。

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 **「送信済メールの内容を確認する」（2-42ページ）の手順１～３と同様の操作を行う**

送信済メール一覧画面が表示されます。

2 **（▲▼）を押し、編集する送信済メールを選び、（メニュー/セット）を押す**

送信済メールの内容が表示されます。

送信済メール　1/ 4
9/ 1 12:00
To ttttt@abc
こんにちは

3 **（文字/サブメニュー 保留）を押す**

サブメニューが表示されます。

4 **「編集」を選び、（メニュー/セット）を押す**

メール作成画面が表示されます。

メール作成
宛先>ttttt@abc
題名>こんにちは
本文>お久しぶり

5 **（▲▼）を押し、編集する項目を選び、（メニュー/セット）を押す**

6 **内容を編集する**

文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-14ページ）をご覧ください。

7 **（メニュー/セット）を押す**

他の項目を編集する場合は、手順５～７を繰り返します。

メール作成
宛先>ttttt@abc
題名>こんにちは
本文>お元気です

8 **（▲▼）を押し、「送信」を選び、（メニュー/セット）を押す**

L モードゲートウェイに接続します。「メール送信中」と表示された後、メールが送信されます。

メール作成
送信
保存

9 **「メールを送信しました」と表示されたら、（メニュー/セット）を押す**

編集した送信済メールを保存するには

手順７の後、（▲▼）を押し、「保存」を選び、（メニュー/セット）を押します。

送信を中止するには

手順８で「メール送信中」と表示されているときに、（メニュー/セット）を押します。

メモ

- 子機でメールを編集中は、親機や他の子機で電話をかけることはできません。
- 子機でメールを編集中に着信があると、編集中のメールが自動的に保存されて、親機と子機の呼出音が鳴ります。通話終了後、再度その子機でメールの操作を行うと、「編集途中のメールがあります」と表示されます。「編集を再開する」または「破棄する」を選んでください。「編集を再開する」を選んだ場合は、メール作成画面が表示されます。

子機で未送信メール一覧を使う

保存したメールや送信できなかったメールは、未送信メール一覧に保存されます。未送信メール一覧から、内容を修正して送信したり、他の相手に送信することができます。

保存していた未送信メールの内容を確認する

未送信メール一覧から内容を確認するメールを選びます。

外線 が消灯している状態で操作してください。

1 メニュー/セット を押す

メインメニューが表示されます。

2 「メール」を選び、メニュー/セット を押す

メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー
受信メール 15件
送信済メール 4件
未送信メール 3件

3 ▲▼ を押し、「未送信メール」を選び、メニュー/セット を押す

未送信メール一覧画面が表示されます。

未送信メール 3件
こんにちは
お元気ですか？
ハロー

4 ▲▼ を押し、内容を確認する未送信メールを選び、メニュー/セット を押す

未送信メールの内容が表示されます。

◀▶ を押すと、前後のメールを見ることができます。

未送信メール 1/ 3
To ttttt@abc
こんにちは

5 確認が終わったら、切 を押す

メモ

子機で未送信メールの内容を表示すると、未送信メール一覧に戻ることはできません。

保存していた未送信メールを送信する

未送信メール一覧から未送信メールを選んで送信します。編集してから送信する場合は、「未送信メールを編集して送信する」(2-45 ページ) をご覧ください。

外線 が消灯している状態で操作してください。

1 「保存していた未送信メールの内容を確認する」の手順1～3と同様の操作を行う

未送信メール一覧画面が表示されます。

2 ▲▼ を押し、送信する未送信メールを選び、メニュー/セット を押す

未送信メールの内容が表示されます。

未送信メール 1/ 3
To ttttt@abc
こんにちは

3 文字/サブメニュー 保留 を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
送信
編集
戻る

4 「送信」を選び、メニュー/セット を押す

Lモードゲートウェイに接続します。「メール送信中」と表示された後、メールが送信されます。

メール送信中
中止

5 「メールを送信しました」と表示されたら、メニュー/セット を押す

送信を中止するには

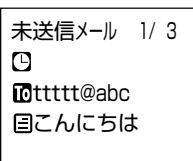
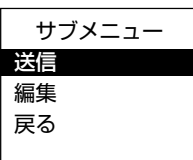
手順4で「メール送信中」と表示されているときに、メニュー/セット を押します。

未送信メールを編集して送信する

未送信メールの宛先、題名、本文を編集して送信することができます。

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 **「保存していた未送信メールの内容を確認する」（2-44ページ）の手順１～３と同様の操作を行う**
未送信メール一覧画面が表示されます。

2 **（上下キー）を押し、編集する未送信メールを選び、（メニュー/セット）を押す**
未送信メールの内容が表示されます。

未送信メール　1/ 3
（時計）
To tttttt@abc
（件名）こんにちは

3 **（文字/サブメニュー 保留）を押す**
サブメニューが表示されます。

4 **（上下キー）を押し、「編集」を選び、（メニュー/セット）を押す**
メール作成画面が表示されます。

メール作成
宛先>ttttt@abc
題名>こんにちは
本文>お久しぶり

5 **（上下キー）を押し、編集する項目を選び、（メニュー/セット）を押す**

6 **内容を編集する**
文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-14ページ）をご覧ください。

7 **（メニュー/セット）を押す**
他の項目を編集する場合は、手順５～７を繰り返します。

メール作成
宛先>ttttt@abc
題名>こんにちは
本文>お元気です

8 **（上下キー）を押し、「送信」を選び、（メニュー/セット）を押す**
L モードゲートウェイに接続します。「メール送信中」と表示された後、メールが送信されます。

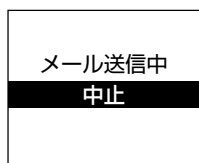
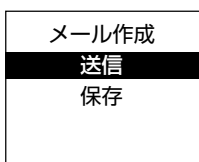
9 **「メールを送信しました」と表示されたら、（メニュー/セット）を押す**

編集した未送信メールを保存するには

手順７の後、（上下キー）を押し、「保存」を選び、（メニュー/セット）を押します。

送信を中止するには

手順８で「メール送信中」と表示されているときに、（メニュー/セット）を押します。

メモ

- 子機でメールを編集中は、親機や他の子機で電話をかけることはできません。
- 子機でメールを編集中に着信があると、編集中のメールが自動的に保存されて、親機と子機の呼出音が鳴ります。通話終了後、再度その子機でメールの操作を行うと、「編集途中のメールがあります」と表示されます。「編集を再開する」または「破棄する」を選んでください。「編集を再開する」を選んだ場合は、メール作成画面が表示されます。

親機でメールを受信する

メールを読む

新しいメールが本機端末に到着するとディスプレイに「新着メールがあります」と表示されて (i) が点滅します。

1 (i) を押す

トップメニュー画面が表示されます。

2 「1 メール」を選び、(セット) を押す

メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー
1 受信メール一覧
2 受信メール読出
3 送信済メール一覧
4 未送信メール一覧
5 新規メール作成

3 「1 受信メール一覧」を選び、(セット) を押す

受信メール一覧画面が表示されます。
まだ読んでいないメールには ✉ がついています。

受信メール一覧 1/1頁
✉練習は中止
✉ツーリング
こんにちは

4 (方向キー) を押し、内容を読む受信メールを選び、(セット) を押す

受信メールの内容が表示されます。

09/01 12:00
ttttt@abc
練習は中止
本日のテニスは雨の為、中止いたします

5 内容を読み終わったら (戻る) を押す

受信メール一覧画面に戻ります。

受信メール一覧 1/1頁
練習は中止
✉ツーリング
こんにちは

メモ

- 新しいメールが到着すると、ディスプレイに「新着メールがあります」と表示されます。親機または子機でメール操作終了後、メッセージは消えます。Lモードゲートウェイでのメール保存期間は14日間、メール保存件数は200件です。14日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
- Lモードゲートウェイ接続中に新しいメールが到着した場合は、回線切断後に到着メッセージが表示されます。
- 受信したメールは、受信メール一覧に保存されます。(2-49ページ)
- 本文は最大全角500文字、半角1000文字まで受信することができます。
- メールでは、200KBを超えないJPEG、PNG、TIFF(プロファイルS)形式の添付ファイルを受けることができます。

「受信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は
受信メール一覧の保存件数は、未読メール、既読メール、保護した受信メールの合計が50件までです。50件を超えると、メールを受信することができません。不要なメールを削除(2-49ページ、取扱説明書8-8ページ)してから操作をやり直してください。

メール受信動作を設定する

新しいメールがLモードゲートウェイに到着したときに、Lモードゲートウェイから自動的にメール本文を読み込むかどうかを設定できます。「自動受信」に設定すると、「受信メール読出」の操作を行わなくても、「受信メール一覧」からメールを選んで読むことができます。(左記)「自動受信プリント」に設定すると、メールが到着すると自動的に内容がプリントされます。
(お買い上げ時の設定は「自動受信」になっています。)

1 (メニュー) を押す

2 (方向キー) を押し、「着信設定」を選び、(セット) を押す

3 (6) を押し、「メール受信動作」を選び、(セット) を押す

6 メール受信動作
◉自動受信
○自動受信プリント
○手動受信

4 (方向キー) を押し、「メール受信動作」の設定を選び、(セット) を押す

5 (登録) を押す

メモ

- 新しいメールが到着した場合、ディスプレイに下記の画面が表示されます。(手順4で「自動受信プリント」または「手動受信」に設定した場合は表示されません。)

「自動受信」に設定している場合:
メール差出人と題名の情報が表示されます。

「手動受信」に設定している場合、またはメールの自動受信に失敗した場合:
「メールがセンターに届きました。受信メール読出してください...」と表示されます。

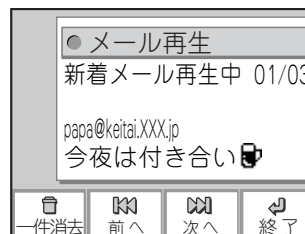
- 停電中にメールが到着した場合や、到着メッセージ/画面が表示されているときに停電した場合は、その後復電しても、到着の表示はされません。

メールを再生する（音声読上げ）

受信したメールの内容を音声で聞くことができます。

 を押す

新着メールがある場合は、新着メールのみ古いものから順に題名と本文が再生されます。

新着メールがない場合は、受信メール一覧に保存されたメールが新しいものから順に再生されます。

メール受信動作を「手動受信」に設定（2-46ページ）している場合は

を押すと、ディスプレイに「センターからメールを受信しますか？」と表示されます。 を選ぶとＬモードゲートウェイからメールを受信し、再生を開始します。

メール再生中の操作

一件消去	現在再生中のメールを消去し、次のメールを再生します。
前へ	前のメールを再生します。
次へ	次のメールを再生します。
終了	再生を途中でやめ、待機画面に戻ります。
− 音量 ＋	再生音量を調節します。（取扱説明書 1-25 ページ）

特別な読みかたを登録するには

人名など、特別な文字や言葉の読みかたを、あらかじめ 30 件まで登録できます。
「本機の基本的な動作を設定する」（取扱説明書 8-2 ページ）の手順にしたがって、「音声読上げ辞書」を選びます。「文字」のテキストボックスに文字や言葉を入力（全角 12 文字まで）し、「読み方」のテキストボックスにはフリガナを入力（半角カタカナのみ 12 文字まで）してください。

聞き終わったメールを消去するには

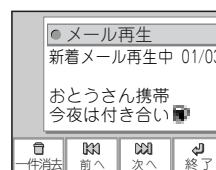
消去したいメールが再生されているときに を押します。

ディスプレイに「消去しますか？」と表示されますので、 を押してください。消去したくない場合は、ここで を押してください。

受信メールを一括消去したい場合は、待機画面に戻り、消去 を押します。

を押し、「受信メール」を選び、 を押し、 を押してください。すべての受信メールが消去されます。消去されたくない受信メールは保護してください。（2-52 ページ）

メモ

- 差出人のメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、題名の前に差出人（電話帳に登録したフリガナ）が読み上げられます。
  例）「新着 1 件目です。おとうさん携帯さんからのメールです。題名、今夜は付き合い。…」
- 一度再生したメールは既読メールになります。
- 音声読上げ速度が速い場合は、音声の速さを「遅く」に設定（取扱説明書 8-2 ページ）し、再度聞き直してください。

親機でメールを受信する（つづき）

メールを手動受信して読む

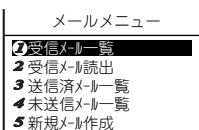
メールを手動受信する設定にしている場合（2-46ページ）は、メールをLモードゲートウェイでお預りします。新しく到着したメールを読むために「受信メール読出」の操作をすると、メールがLモードゲートウェイから受信メール一覧に保存されて読むことができます。

1 を押す

トップメニュー画面が表示されます。

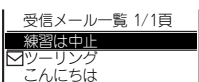
2 「1 メール」を選び、セット を押す

メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー
1 受信メール一覧
2 受信メール読出
3 送信済メール一覧
4 未送信メール一覧
5 新規メール作成

3 を押し、「2 受信メール読出」を選び、セット を押す

新しい受信メールが到着している場合は、「接続中」と表示された後、メールを受信します。「受信メールがありません。」または「接続に失敗しました。」と表示された場合は、セット を押すと受信メール一覧画面が表示されます。Lモードを終了する場合は、ストップ を押します。

4 「受信完了　切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、セット を押す

最新の受信メールが反転表示した受信メール一覧画面が表示されます。

まだ読んでいないメールには ✉ がついています。

受信メール一覧 1/1頁
練習は中止
✉ツーリング
こんにちは

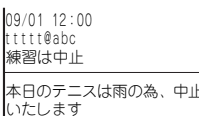
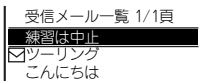
5 を押し、内容を読む受信メールを選び、セット を押す

受信メールの内容が表示されます。

09/01 12:00
ttttt@abc
練習は中止
本日のテニスは雨の為、中止いたします

6 内容を読み終わったら、戻る を押す

受信メール一覧画面に戻ります。

受信メール一覧 1/1頁
練習は中止
✉ツーリング
こんにちは

メール通知音を設定する

新しいメールが到着したときに鳴る、親機のメール通知音を設定することができます。

（お買い上げ時の設定は「する」になっています。）

1 メニュー を押す

2 を押し、「着信設定」を選び、セット を押す

3 JKL 5 を押し、「メール通知音」を選ぶ

5メール通知音
◎する
○しない

4 を押し、「メール通知音」の設定を選び、セット を押す

5 登録 を押す

メモ

- Lモードゲートウェイからのメール受信の操作をするとLモードゲートウェイで削除され、再度メール受信の操作をすることはできません。メール受信の操作をしたメールは、受信メール一覧に保存されます。（2-49ページ）
- 新しいメールが到着すると、ディスプレイに「新着メールがあります」と表示されます。親機または子機でメール操作終了後、メッセージは消えます。Lモードゲートウェイでのメール保存期間は14日間、メール保存件数は200件です。14日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
- Lモードゲートウェイに接続している場合は、電話をかけることができません。
- 本文は最大全角500文字、半角1000文字まで受信することができます。
- メールでは、200KBを超えないJPEG、PNG、TIFF（プロファイルS）形式の添付ファイルを受けることができます。
- Lモードゲートウェイに接続する必要があるのは、Lモードゲートウェイからメール受信をするときだけです。すでに受信したメールを読んだり、受信メール一覧に保存されているメールを読む場合は、Lモードゲートウェイに接続する必要はありません。
- Lモードに対応していないTAを接続している場合、「する」に設定していてもメール通知音が鳴らないことがあります。

「受信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

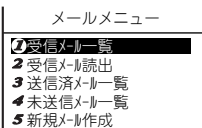
受信メール一覧の保存件数は、未読メール、既読メール、保護した受信メールの合計が50件までです。50件を超えると、メールを受信することができません。不要なメールを削除（2-49ページ、取扱説明書8-8ページ）してから操作をやり直してください。

親機で受信メール一覧を使う

受信したメールは、受信メール一覧に保存されます。受信メール一覧から、保存されている受信メールを利用したさまざまな操作ができます。

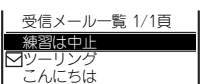
受信メールを読み直す

受信メール一覧画面で読み直したいメールを選ぶことができます。Ｌモードゲートウェイに接続する必要はありません。

1 （Ｌ）を押す

トップメニュー画面が表示されます。

2 「1　メール」を選び、（セット）を押す

メールメニュー画面が表示されます。

3 「1 受信メール一覧」を選び、（セット）を押す

受信メール一覧画面が表示されます。

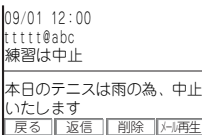
まだ読んでいないメールには ✉ がついています。

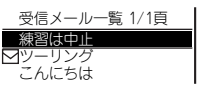
受信メール一覧 1/1頁
練習は中止
✉ツーリング
こんにちは

4 （カーソル）を押し、内容を読む受信メールを選び、（セット）を押す

受信メールの内容が表示されます。

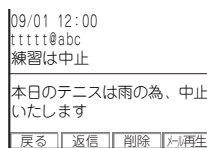
（メール再生）を押すと、メールの内容を音声で聞くことができます。

09/01 12:00
ttttt@abc
練習は中止
本日のテニスは雨の為、中止いたします
戻る｜返信｜削除｜メール再生

5 内容を読み終わったら、（戻る）を押す

受信メール一覧画面に戻ります。

受信メールを削除／プリントする

1 「受信メールを読み直す」の手順1～3と同様の操作を行う

受信メール一覧画面が表示されます。

2 （カーソル）を押し、削除／プリントする受信メールを選び、（セット）を押す

受信メールの内容が表示されます。

削除するときは

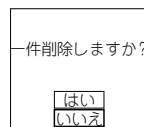
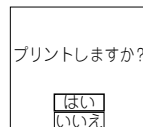
3 （削除）を押す

確認画面が表示されます。

4 （カーソル）を押し、「はい」を選び、（セット）を押す

プリントするときは

3 （メニュー）を押す

4 （カーソル）を押し、「⑥ プリント」を選び、（セット）を押す

確認画面が表示されます。

5 「はい」を選び、（セット）を押す

受信メールを一括削除するには

手順1の後、（メニュー）を押し、（カーソル）を押し、「⑤ 全件削除」を選び、（セット）を押します。（カーソル）を押し、「はい」を選び、（セット）を押します。

受信メール一覧に保護されたメールが含まれていた場合は、「保護メールを削除しますか？」と表示されます。（カーソル）を押し、「はい」または「いいえ」を選び、（セット）を押します。「いいえ」を選び、（セット）を押すと保護されたメールは削除されずに残ります。

メモ

受信メールの内容にカラーの絵文字などが含まれている場合も、白黒でプリントされます。

親機で受信メール一覧を使う（つづき）

受信メールに返事を出す（返信）

受信したメールに返事を出すことができます。

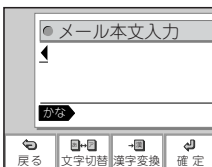
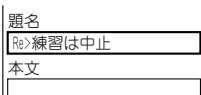
1 「受信メールを読み直す」（2-49 ページ）の手順 1 〜 3 と同様の操作を行う

受信メール一覧画面が表示されます。

2 [方向ボタン] を押し、返事を出すメールを選び、[返信] を押す

返信メール作成画面が表示されます。

3 [方向ボタン] を押し、「本文」テキストボックスを選び、[セット] を押す

本文入力画面が表示されます。

4 本文を入力する

文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。

5 [確定] を押す

返信メール作成画面に戻ります。

6 [送信] を押す

L モードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。

7 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、[セット] を押す

題名を入力するには

返事を出すメールの題名にはあらかじめ「Re>XXX」と入力されています。「Re>」は、「XXX」というメールへの返信であることを表します。題名を変える場合は、手順２の後、[方向ボタン] を押し、「題名」テキストボックスを選び、 [セット] を押し、題名を編集します。

作成したメールを保存するには

手順５の後、[保存] を押します。
または、[保存] のかわりに [メニュー] を押し、[方向ボタン] を押し、「② 保存」を選び、[セット] を押して保存することもできます。

送信を中止するには

手順６で「接続中」と表示されているときに、[セット] を押します。

メモ

手順５の後、[メニュー] を押し、「① 送信」を選び、[セット] を押して送信することもできます。

「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、メールを返信することができません。未送信メールを送信するか（2-38ページ）、不要なメールを削除（2-34、2-37 ページ）してから操作をやり直してください。

受信メールを他の宛先に送信する（転送）

受信したメールの内容をそのまま他の宛先に、簡単に転送することができます。

1 **「受信メールを読み直す」（2-49 ページ）の手順 1 ～ 3 と同様の操作を行う**

受信メール一覧画面が表示されます。

2 **を押し、転送するメールを選び、（セット）を押す**

受信メールの内容が表示されます。

09/01 12:00
ttttt@abc
練習は中止

本日のテニスは雨の為、中止いたします

3 **メニュー を押す**

①返信
②転送
③電話帳登録
④削除
⑤保護／解除
⑥プリント

4 **を押し、「② 転送」を選び、（セット）を押す**

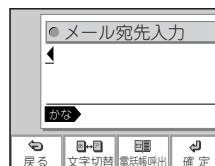
転送メール作成画面が表示されます。

5 **「宛先」テキストボックスを選び、（セット）を押し、宛先を入力する**

文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-6 ページ）をご覧ください。

6 **確定 を押す**

転送メール作成画面に戻ります。

7 **送信 を押す**

L モードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。

8 **「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選び、（セット）を押す**

電話帳を使って宛先を入力するには

手順５で（セット）を押した後、（電話帳呼出）を押します。を押し、転送する相手を選び、（セット）を押します。

題名を入力するには

転送するメールの題名にはあらかじめ「Fw>XXX」と入力されています。「Fw>」は、「XXX」というメールの転送であることを表します。題名を変える場合は、手順６の後、を押し、「題名」テキストボックスを選び、（セット）を押し、題名を編集します。

作成したメールを保存するには

手順６の後、（保存）を押します。

または、（保存）のかわりに（メニュー）を押し、を押し、「② 保存」を選び、（セット）を押して保存することもできます。

送信を中止するには

手順７で「接続中」と表示されているときに、（セット）を押します。

メモ

手順６の後、（メニュー）を押し、「① 送信」を選び、（セット）を押して送信することもできます。

「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、メールを転送することができません。未送信メールを送信するか（2-38ページ）、不要なメールを削除（2-34、2-37 ページ）してから操作をやり直してください。

親機で受信メール一覧を使う（つづき）

差出人のメールアドレスを電話帳に登録する

メールの差出人のメールアドレスを簡単な操作で親機の電話帳に登録することができます。メールアドレスは最大 100 件まで登録することができます。

1 「受信メールを読み直す」（2-49ページ）の手順1〜3と同様の操作を行う

受信メール一覧画面が表示されます。

2 を押し、メールアドレスを登録するメールを選び、セット を押す

受信メールの内容が表示されます。

09/01 12:00
ttttt@abc
練習は中止
本日のテニスは雨の為、中止いたします

3 メニュー を押す

①返信
②転送
③電話帳登録
④削除
⑤保護／解除
⑥プリント

4 を押し、「③ 電話帳登録」を選び、セット を押す

手順2の画面に戻ります。電話帳登録画面のなまえに「名前未登録」、メールアドレスに差出人のメールアドレスが自動的に入力されます。

09/01 12:00
ttttt@abc
練習は中止
本日のテニスは雨の為、中止いたします

5 必要に応じて電話帳の編集をする

電話帳の編集のしかたについては、「電話帳に登録する」（取扱説明書2-8ページ）をご覧ください。

メモ

「メモリがありません」と表示された場合は
すでに電話帳が 100 件登録されています。不要な電話帳を削除してください。（取扱説明書 2-10 ページ）

受信メールを保護／保護解除する

受信メールが自動的に削除されないように親機で25件まで保護することができます。同じ操作で保護解除することができます。

1 「受信メールを読み直す」（2-49ページ）の手順1〜3と同様の操作を行う

受信メール一覧画面が表示されます。

2 を押し、保護／保護解除するメールを選び、セット を押す

受信メールの内容が表示されます。

09/01 12:00
ttttt@abc
練習は中止
本日のテニスは雨の為、中止いたします

3 メニュー を押す

①返信
②転送
③電話帳登録
④削除
⑤保護／解除
⑥プリント

保護するときは

4 「⑤ 保護／解除」を選び、セット を押す

保護したメールには、 が表示されます。

受信メール一覧
練習は中止
ツーリング

解除するときは

4 「⑤ 保護／解除」を選び、セット を押す

保護解除したメールは、 が消えます。

受信メール一覧
練習は中止
ツーリング

メモ

「これ以上保護できません。」と表示された場合は
すでに受信メールが25件保護されているとそれ以上は保護することができません。受信メールの保護を解除するか、不要な保護された受信メールを削除（2-49 ページ）してから操作をやり直してください。

子機でメールを受信する

メールを読む

新しいメールが本機端末に到着すると、ディスプレイに「新着メールあり」と表示されます。お買い上げ時は、メール受信動作が「自動受信」に設定されており、「受信メール読出」の操作を行わなくても、「受信メール」からすぐにメールを読むことができます。

1 メニュー/セット を押す

メインメニューが表示されます。

2 「メール」を選び、メニュー/セット を押す

メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー
受信メール　15件
送信済メール　4件
未送信メール　3件

3 「受信メール」を選び、メニュー/セット を押す

受信メール一覧画面が表示されます。

まだ読んでいないメールには ✉ がついています。

受信メール　15件
こんにちは
✉お元気ですか？
✉ハロー

4 を押し、内容を読むメールを選び、メニュー/セット を押す

受信メールの内容が表示されます。

を押すと、本文を確認できます。

を押すと、前後のメールを見ることができます。

受信メール　1/15
9/ 1 12:00
Fr ttttt@abc
こんにちは

5 内容を読み終わったら 切 を押す

メモ

- Ｌモードゲートウェイとの接続にパスワードが設定されているときは、親機でパスワードを保存しておかないと、子機でメールを受信することができません。詳しくは NTT の「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。
- 新しいメールが到着すると、ディスプレイに「新着メールあり」と表示されます。親機または子機でメール操作終了後、メッセージは消えます。Ｌモードゲートウェイでのメールの保存期間は 14 日間、メール保存件数は 200 件です。14 日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
- 受信メール一覧の保存件数は、未読メール、既読メール、保護した受信メールの合計が 50 件までです。50 件を超えると、一番古い保護されていない既読メールが自動的に削除されます。（未読メールは削除されません。）削除されたくない受信メールは親機で保護してください。（2-52 ページ）
- 本文は最大全角 500 文字、半角 1000 文字まで受信することができます。
- メールでは、200KB を超えない JPEG、PNG、TIFF（プロファイル S）形式の添付ファイルを受けることができます。
- 子機で受信メールの内容を表示すると、受信メール一覧に戻ることはできません。

「受信メールが一杯です」と表示された場合は

未読メール、既読メール、保護した受信メールの合計が 50 件になると、メールを受信することができません。不要なメールを親機で削除（2-49 ページ、取扱説明書 8-8 ページ）してから操作をやり直してください。

子機でメールを受信する（つづき）

メールを手動受信して読む

メールを手動受信する設定にしている場合（2-46 ページ）は、メールをＬモードゲートウェイでお預りします。新しく到着したメールを読むために「受信メール読出」の操作をするとメールがLモードゲートウェイから受信メール一覧に保存されて読むことができます。

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 **（メニュー/セット）を押す**

メインメニューが表示されます。

2 **「メール」を選び、（メニュー/セット）を押す**

メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー	
受信メール	15件
送信済メール	4件
未送信メール	3件

3 **（上下）を押し、「受信メール読出」を選び、（メニュー/セット）を押す**

新しい受信メールが到着している場合は、「メール受信中」と表示された後、メールを受信します。

メールメニュー
新規メール作成
受信メール読出

メール受信中
中止

4 **「メールを受信しました」と表示されたら、（メニュー/セット）を押す**

受信メール一覧画面が表示されます。

まだ読んでいないメールには ✉ がついています。

受信メール　15件
こんにちは
✉お元気ですか？
✉ハロー

5 **（上下）を押し、内容を読むメールを選び、（メニュー/セット）を押す**

受信メールの内容が表示されます。

（上下）を押すと、本文を確認できます。

（左右）を押すと、前後のメールを見ることができます。

受信メール　1/15
9/ 1 12:00
Fr ttttt@abc
こんにちは

6 **内容を読み終わったら、（切）を押す**

メモ

- Ｌモードゲートウェイとの接続にパスワードが設定されているときは、親機でパスワードを保存しておかないと、子機でメールを受信することができません。詳しくは NTT の「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。
- 新しいメールが到着すると、ディスプレイに「新着メールあり」と表示されます。親機または子機でメール操作終了後、メッセージは消えます。Ｌモードゲートウェイでのメールの保存期間は 14 日間、メール保存件数は 200 件です。14 日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
- 新着メールがないときは、「新着メールはありません」と表示されます。（メニュー/セット）を押すと、メールメニュー画面が表示されます。
- 受信メール一覧の保存件数は、未読メール、既読メール、保護した受信メールの合計が 50 件までです。50 件を超えると、一番古い保護されていない既読メールが自動的に削除されます。（未読メールは削除されません。）削除されたくない受信メールは親機で保護してください。（2-52 ページ）
- 本文は最大全角 500 文字、半角 1000 文字まで受信することができます。
- メールでは、200KB を超えない JPEG、PNG、TIFF（プロファイル S）形式の添付ファイルを受けることができます。
- Ｌモードゲートウェイに接続する必要があるのは、Ｌモードゲートウェイからメール受信をするときだけです。すでに受信したメールを読んだり、受信メール一覧に保存されているメールを読む場合は、Ｌモードゲートウェイに接続する必要はありません。
- 子機で受信メールの内容を表示すると、受信メール一覧に戻ることはできません。

「受信メールが一杯です」と表示された場合は

未読メール 、既読メール、保護した受信メールの合計が 50 件になると、メールを受信することができません。不要なメールを親機で削除（2-49 ページ、取扱説明書 8-8 ページ）してから操作をやり直してください。

メール通知音量を設定する

新しいメールが到着したときに鳴る、子機のメール通知音の音量を設定することができます。音量は「大」「小」の２段階と「消音」が選べます。
（お買い上げ時の設定は「音量大」になっています。）

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 （メニュー/セット）を押す
メインメニューが表示されます。

メインメニュー
メール
音の設定
留守電操作

2 （▲▼）を押し、「音の設定」を選ぶ

メインメニュー
メール
音の設定
留守電操作

3 （メニュー/セット）を押す
音の設定メニュー画面が表示されます。

音の設定
呼出音選択
呼出音量
メール通知音量

4 （▲▼）を押し、「メール通知音量」を選ぶ

音の設定
呼出音選択
呼出音量
メール通知音量

5 （メニュー/セット）を押す
メール通知音量画面が表示されます。

メール通知音量
音量大
音量小
消音

6 （▲▼）を押し、音量を選ぶ

7 （メニュー/セット）を押す

子機で受信メール一覧を使う

受信したメールは、受信メール一覧に保存されます。受信メール一覧から、保存されている受信メールを利用したさまざまな操作ができます。

受信メールを読み直す

受信メール一覧画面で読み直したいメールを選ぶことができます。Ｌモードゲートウェイに接続する必要はありません。

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 （メニュー/セット）を押す
メインメニューが表示されます。

2 「メール」を選び、（メニュー/セット）を押す
メールメニュー画面が表示されます。

メールメニュー	
受信メール	**15件**
送信済メール	4件
未送信メール	3件

3 「受信メール」を選び、（メニュー/セット）を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
まだ読んでいないメールには ✉ がついています。

受信メール　15件
こんにちは
✉お元気ですか？
✉ハロー

4 （▲▼）を押し、内容を読むメールを選び、（メニュー/セット）を押す
受信メールの内容が表示されます。
（▲▼）を押すと、本文を確認できます。
（◀▶）を押すと、前後のメールを見ることができます。

受信メール　1/15
9/ 1 12:00
Fr ttttt@abc
こんにちは

5 内容を読み終わったら、（切）を押す

メモ

子機で受信メールの内容を表示すると、受信メール一覧に戻ることはできません。

子機で受信メール一覧を使う（つづき）

受信メールに返事を出す（返信）

受信したメールに返事を出すことができます。

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 「受信メールを読み直す」（2-55 ページ）の手順 1 ～ 3 と同様の操作を行う

受信メール一覧画面が表示されます。

2 （上下）を押し、返事を出すメールを選び、（メニュー/セット）を押す

受信メールの内容が表示されます。

受信メール　1/15
9/ 1 12:00
Fr ttttt@abc
こんにちは

3 （文字/サブメニュー 保留）を押す

サブメニューが表示されます。

4 「返信」を選び、（メニュー/セット）を押す

メール作成画面が表示されます。

5 （上下）を押し、「本文」を選び、（メニュー/セット）を押す

6 本文を入力する

文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-14ページ）をご覧ください。

7 （メニュー/セット）を押す

8 （上下）を押し、「送信」を選び、（メニュー/セット）を押す

L モードゲートウェイに接続します。「メール送信中」と表示された後、メールが送信されます。

9 「メールを送信しました」と表示されたら、（メニュー/セット）を押す

題名を入力するには

返事を出すメールの題名にはあらかじめ「Re: XXX」と入力されています。「Re:」は「XXX」というメールへの返信であることを表します。題名を変える場合は、手順４の後、（上下）を押し、「題名」を選び、（メニュー/セット）を押し、題名を編集します。

作成したメールを保存するには

手順７の後、（上下）を押し、「保存」を選び、（メニュー/セット）を押します。

送信を中止するには

手順８で「メール送信中」と表示されているときに、（メニュー/セット）を押します。

メモ

「送信メールが一杯です」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、メールを返信することができません。未送信メールを送信するか（2-44ページ）、不要なメールを親機で削除（2-34、2-37 ページ）してから操作をやり直してください。

受信メールを他の宛先に送信する（転送）

受信したメールの内容をそのまま他の宛先に、簡単に転送することができます。

（外線）が消灯している状態で操作してください。

1 **「受信メールを読み直す」（2-55 ページ）の手順 1 ～ 3 と同様の操作を行う**

受信メール一覧画面が表示されます。

2 **（▲▼）を押し、転送するメールを選び、（メニュー/セット）を押す**

受信メールの内容が表示されます。

受信メール　1/15
9/ 1 12:00
Fr ttttt@abc
こんにちは

3 **（文字/サブメニュー 保留）を押す**

サブメニューが表示されます。

4 **（▲▼）を押し、「転送」を選び、（メニュー/セット）を押す**

メール作成画面が表示されます。

5 **「宛先」を選び、（メニュー/セット）を押す**

6 **「マニュアル入力」を選び、（メニュー/セット）を押し、宛先を入力する**

文字の入力のしかたについては、「文字入力について」（2-14ページ）をご覧ください。

7 **（メニュー/セット）を押す**

8 **（▲▼）を押し、「送信」を選び、（メニュー/セット）を押す**

L モードゲートウェイに接続します。「メール送信中」と表示された後、メールが送信されます。

9 **「メールを送信しました」と表示されたら、（メニュー/セット）を押す**

親機の電話帳に登録された宛先を選ぶには

手順5の後、（▲▼）を押し、「アドレス検索」を選び、（メニュー/セット）を押します。（▲▼）を押し、転送する宛先を選び、（メニュー/セット）を押します。

題名を入力するには

転送するメールの題名にはあらかじめ「Fw: XXX」と入力されています。「Fw:」は「XXX」というメールの転送であることを表します。題名を変える場合は、手順7の後、（▲▼）を押し、「題名」を選び、（メニュー/セット）を押し、題名を編集します。

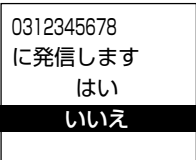
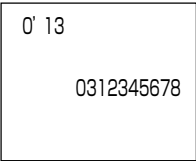
作成したメールを保存するには

手順7の後、（▲▼）を押し、「保存」を選び、（メニュー/セット）を押します。

送信を中止するには

手順8で「メール送信中」と表示されているときに、（メニュー/セット）を押します。

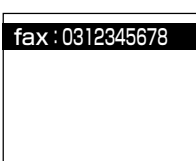
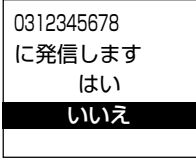
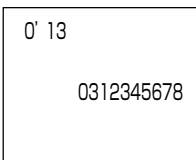
メモ

「送信メールが一杯です」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、メールを転送することができません。未送信メールを送信するか（2-44ページ）、不要なメールを親機で削除（2-34、2-37 ページ）してから操作をやり直してください。

子機でメール文面上の電話番号／ファクス番号／アドレスを利用する

メールに表示されている電話番号、ファクス番号、メールアドレスなどを利用して、簡単に電話をかけたり、ファクスを受信したり、メールを送信することができます。

PHONE TO機能を使う

表示されている電話番号に電話をかけます。

1 メールを表示中に ◎ を押し、電話番号を選ぶ

電話番号が反転表示されます。

tel：0312345678

例：電話番号の場合

2 メニュー/セット を押す

電話番号に電話をかけてもよいか確認画面が表示されます。
電話番号は必ず確認してください。

0312345678
に発信します
はい
いいえ

3 ◎ を押し、「はい」を選び、メニュー/セット を押す

電話番号を自動的にダイヤルします。

0' 13
0312345678

4 相手が出たら、話す

5 終わったら、充電台に戻すか、切 を押す

メモ

- PHONE TO機能を使って電話をかける場合は、必ず電話番号を確認してください。海外やダイヤルQ²の電話番号につながり、高額の通話料金がかかる場合があります。
- メールによっては、電話番号が反転表示されない場合があります。その場合は、上記の操作で電話をかけることはできません。
- L モードゲートウェイに接続している場合は、自動的にL モードゲートウェイとの接続を切断してから電話をかけます。

FAX TO機能を使う

表示されているファクス番号からファクスを受信します。

1 メールを表示中に ◎ を押し、ファクス番号を選ぶ

ファクス番号が反転表示されます。

fax：0312345678

2 メニュー/セット を押す

ファクス番号に電話をかけてもよいか確認画面が表示されます。
ファクス番号は必ず確認してください。

0312345678
に発信します
はい
いいえ

3 ◎ を押し、「はい」を選び、メニュー/セット を押す

ファクス番号を自動的にダイヤルします。

0' 13
0312345678

4 アナウンスにしたがって操作する

アナウンスがない場合もあります。

5 ファクス を押す

メモ

- メールによっては、ファクス番号が反転表示されない場合があります。その場合は、上記の操作でファクスを受信することはできません。
- L モードゲートウェイに接続している場合は、自動的にL モードゲートウェイとの接続を切断してからファクス番号に電話をかけます。

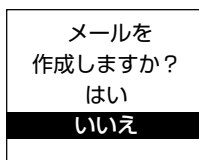
MAIL TO機能を使う

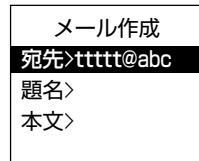
表示されているメールアドレス宛にメールを送信します。

1 **メールを表示中に [上下キー] を押し、メールアドレスを選ぶ**
メールアドレスが反転表示されます。

mailto : ttttt@abc

2 **[メニュー/セット] を押す**
メールを作成するか確認画面が表示されます。

メールを
作成しますか？
はい
いいえ

3 **[上下キー] を押し、「はい」を選び、[メニュー/セット] を押す**
メール作成画面が表示されます。
L モードゲートウェイに接続している場合は、自動的にLモードゲートウェイとの接続を切断します。
メールアドレスは必ず確認してください。

メール作成
宛先>ttttt@abc
題名>
本文>

4 **題名や本文を入力して送信する**
「新規メールを作成して送信する」（2-40 ページ）をご覧ください。

メモ

メールによっては、メールアドレスが反転表示されない場合があります。その場合は、上記の操作でメールを送ることはできません。

「送信メールが一杯です」と表示された場合は
未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、新規メールを作成することができません。未送信メールを送信するか（2-44 ページ）、不要なメールを親機で削除（2-34、2-37 ページ）してから操作をやり直してください。

Ｌモードの設定を変更する

Ｌモードをご利用になるための設定を確認したり、変更したりすることができます。

画像表示の設定をする

サイトやインターネットホームページに含まれる画像データを表示するかしないかを設定することができます。
（お買い上げ時は「する」に設定されています。）

1 **を押す**

トップメニュー画面が表示されます。

2 **を押し、「8 設定メニュー」を選び、セット を押す**

Lモード設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
①メール一覧設定
②画像表示設定
③端末機器自動設定
④センタ番号確認
⑤無通信監視時間設定

3 **を押し、「② 画像表示設定」を選び、セット を押す**

画像表示設定画面が表示されます。

◉画像を表示する
○ 画像を表示しない
OK

4 **を押し、設定する項目を選び、セット を押す**

5 **を押し、「OK」を選び、セット を押す**

メモ

画像データを表示しない設定にするとサイトやインターネットホームページを早く表示することができます。

端末機器の自動設定をする

Lモードをご利用になるために必要なアクセスポイントの電話番号（センタ番号）を自動的に登録するための設定です。
「Lモードを使えるように設定する」（2-4ページ）の操作を行って、すでにＬモードをご利用になっている場合は、この設定は必要ありません。

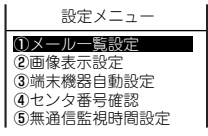
1 **を押す**

トップメニュー画面が表示されます。

2 **を押し、「8 設定メニュー」を選び、セット を押す**

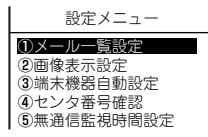
Lモード設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
①メール一覧設定
②画像表示設定
③端末機器自動設定
④センタ番号確認
⑤無通信監視時間設定

3 **を押し、「③ 端末機器自動設定」を選び、セット を押す**

サービス利用時に
お客様電話番号の
通知が必要です。
通知しますか？
はい　いいえ

4 **「はい」を選び、セット を押す**

センタ番号を確認する

「端末機器自動設定」で登録されたアクセスポイントの電話番号（センタ番号）を確認することができます。

1 を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 を押し、「8 設定メニュー」を選び、(セット) を押す
Lモード設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
①メール一覧設定
②画像表示設定
③端末機器自動設定
④センタ番号確認
⑤無通信監視時間設定

3 を押し、「④ センタ番号確認」を選び、(セット) を押す
アクセスポイントの電話番号（センタ番号）が表示されます。

4 確認が終わったら、(セット) を押す

メモ

アクセスポイントの電話番号（センタ番号）が登録されていない場合は、表示されません。

無通信監視時間を設定する

Ｌモードゲートウェイに接続している状態で、サイトへの接続やメールの送受信などの通信をしていない時間を監視し、設定した時間が過ぎると自動的にLモードゲートウェイとの接続を切断します。

1 を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 を押し、「8 設定メニュー」を選び、(セット) を押す
Lモード設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
①メール一覧設定
②画像表示設定
③端末機器自動設定
④センタ番号確認
⑤無通信監視時間設定

3 を押し、「⑤ 無通信監視時間設定」を選び、(セット) を押す
無通信監視時間設定画面が表示されます。

無通信監視時間設定
03分
OK

4 (セット) を押し、を押し、監視する時間を選ぶ
お買い上げ時は「3分」に設定されています。
１分～１０分までの間の数値、または「無監視」に設定します。

01分
02分
03分
04分
05分
06分

5 (セット) を押し、を押し、「OK」を選び、(セット) を押す

メモ

- 手順４で「無監視」に設定すると、何も操作しない状態が続いてもＬモードゲートウェイとの接続を切断しません。
- Lモードゲートウェイに接続している状態でプリントした場合、それまでの監視時間は0に戻り、プリント終了後にあらためて監視を開始します。

L モードの設定を変更する（つづき）

メール一覧の表示を設定する

受信／送信済／未送信メール一覧の表示を、メールの題名か差出人／送信先のメールアドレスかを選ぶことができます。
（お買い上げ時の設定は「題名表示」になっています。）

1 を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 を押し、「8 設定メニュー」を選び、セット を押す
L モード設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
①メール一覧設定
②画像表示設定
③端末機器自動設定
④センタ番号確認
⑤無通信監視時間設定

3 「① メール一覧設定」を選び、セット を押す
メール一覧設定画面が表示されます。

◉ 題名表示
○ アドレス表示
OK

4 を押し、設定する項目を選び、セット を押す

5 を押し、「OK」を選び、セット を押す

暗号化サイト用の証明書を設定する

暗号化通信（2-29 ページ）でサイトの認証に必要な証明書の内容を表示したり、証明書の有効／無効を設定することができます。証明書を無効にすると、暗号化サイトへの接続を制限できます。
（お買い上げ時の設定はすべての証明書が「有効」になっています。）

1 を押す
トップメニュー画面が表示されます。

2 を押し、「8 設定メニュー」を選び、セット を押す
L モード設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー
①メール一覧設定
②画像表示設定
③端末機器自動設定
④センタ番号確認
⑤無通信監視時間設定

3 を押し、「⑥ 証明書設定」を選び、セット を押す

証明書
①○CA証明書1
②○CA証明書2
③○CA証明書3
④○CA証明書4
⑤○CA証明書5

4 を押し、設定する証明書を選び、有効 または 無効 を押す
有効 を選ぶと「○」、無効 を選ぶと「×」が表示されます。
セット を押すと、選んだ証明書の内容が表示されます。

メモ

証明書を無効にすると、その証明書が認証するサイトに接続する際、「正しく暗号化通信ができない可能性がありますが、続けますか？」という確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、証明書による認証を省略して暗号化通信を行います。「いいえ」を選ぶと、暗号化通信を中止して 1 つ前の画面に戻ることができます。

3 章 その他のサービス

モデムダイヤルインサービスとは

NTTとモデムダイヤルインサービスのご契約をすると、1つの電話回線で電話用とファクス専用の電話番号を持つことができます。

モデムダイヤルインサービスを利用するには

1 **NTT窓口などでモデムダイヤルインサービスの契約をする**

- 契約のとき、必ず「モデムダイヤルイン方式」でご契約ください。
- ファクスと電話を振り分けるために、2つの電話番号が必要です。
- 現在ご使用の電話番号が変わることがあります。
- サービス開始日時を必ず確認してください。

2 **サービス開始日時になったら、本機をモデムダイヤルインモードに設定し（3-3ページ）、電話番号を登録する**

必ずサービス開始後に設定してください。サービス開始前に設定すると、電話やファクスを受けることができなくなります。

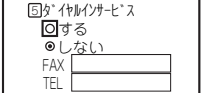
お願い

他の電話機などとブランチ（並列）式接続しないでください。
ダイヤルインサービスが正常に動作できません。

モデムダイヤルインサービスのご利用例

電話用に「01-1111-1111」の番号を割り当て、ファクス専用に「01-1111-2222」の番号を割り当てたとします。

■ 相手がファクス専用の電話番号「01-1111-2222」にファクスを送ってくると、呼出音が鳴らずにファクスの自動受信が始まります。

■ 電話用の電話番号「01-1111-1111」に電話がかかってくると、呼出音が鳴って電話であることを知らせます。電話を受けた後、ファクスを受信することもできます。

メモ

- モデムダイヤルインサービスは、NTTのキャッチホン、トリオホン、転送でんわ、電話会議、トーキ案内、なりわけサービスなどと同時に契約することはできません。詳しくは、NTT窓口などにお問い合わせください。
- ファクス専用番号にダイヤルして通話することはできません。
- 電話回線は1つですので、ファクスと電話を同時に使うことはできません。
- 地域によっては、モデムダイヤルインサービスをご利用になれないことがあります。お近くのNTT窓口などにお問い合わせください。

ダイヤルイン番号を設定する

NTTとのご契約の後モデムダイヤルインサービスの開始日になったら、ダイヤルイン番号を本機に登録します。

1 メニュー を押す

2 を押し、「初期設定」を選び、セット を押す

3 5 を押し、「ダイヤルインサービス」を選ぶ

4 「する」を選び、セット を押す

5 を押し、「FAX」を選び、セット を押す

6 0 〜 9 を押し、ファクス用のダイヤルイン番号を市外局番から入力し、確定 を押す

7 を押し、「TEL」を選び、セット を押す

8 0 〜 9 を押し、電話用のダイヤルイン番号を市外局番から入力し、確定 を押す

9 登録 を押す

番号を入力し直すには

手順６または手順８で 消去 を押して番号を消去し、入力し直してください。

モデムダイヤルインサービスの利用を中止するには

手順４で を押し、「しない」を選び、セット を押します。

メモ

- ダイヤルイン番号は、必ず市外局番から登録してください。
- ダイヤルイン番号は、ファクス用と電話用で、それぞれ異なった番号に振り分けてください。
- モデムダイヤルインサービスの設定を行うと、本機の受信モードの設定は無効となって「TEL モード」固定となります。（受信モードについて詳しくは、取扱説明書 4-6 ページをご覧ください。）

キャッチホンを使う

通話中に別の人から着信があると呼出音が聞こえ、別の人との通話に切り替えられるようにするサービスがキャッチホンです。キャッチホンサービスをご利用になるには、あらかじめNTTとのご契約が必要です。

親 親機で受ける

1 通話中キャッチホン信号が聞こえる

2 着信履歴/キャッチ ◯ を押す

話していた相手は保留状態となり、後からかけてきた相手と通話できます。

3 もう一度 着信履歴/キャッチ ◯ を押す

先に話していた相手と通話を続けることができます。

子 子機で受ける

1 通話中キャッチホン信号が聞こえる

2 クリア/キャッチ ◯ を押す

話していた相手は保留状態となり、後からかけてきた相手と通話できます。

3 もう一度 クリア/キャッチ ◯ を押す

先に話していた相手と通話を続けることができます。

メモ

- 通話中にキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れて元の相手との通話に戻れなくなります。
- キャッチホンとは別に、キャッチホン・ディスプレイをご契約の場合は、手順1で相手の電話番号などが表示されます。

ファクシミリ通信網（Fネット）を使う

ファクシミリ通信網（Fネット）は、NTTコミュニケーションズの提供するファクス専用の有料サービスです。

ファクシミリ通信網でできること

できること	説　明
一斉同報通信	1回の操作で同じ原稿を最大10000ヵ所まで同時に送信することができます。夜間割引もあります。
短縮ダイヤル	最大10000個の短縮ダイヤルが利用できます。
再コール	相手が通信中のとき、2分間隔で5回まで自動的に再ダイヤルします。再ダイヤルの回数は変更できます。
不達通知	再コールをしても相手が話し中などで送信できなかったとき、そのことを送信側に通知します。
閉域接続	サークル仲間など、特定の相手との通信ネットワークを作ることができます。

メモ

- ご利用になるには、NTTコミュニケーションズとの加入契約が必要です。
- ご利用の際には、「G3サービス16Hz」の契約をしてください。
- ファクシミリ通信網（Fネット）の詳しい内容については、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

iFAXを使う

iFAXは、NTTコミュニケーションズが提供する有料サービスです。本機ではこのサービスを利用してファクスをEメールとして送信することができます。

Eメールにファクスを送信する

- 相手がiFAX利用者の場合は、ユーザID（iFAX利用者が取得している10桁のお客様番号）を指定することで送信できます。
- 相手がiFAX利用者でない場合でも、メールアドレスをiFAX宛先リストに登録すれば送信できます。また、宛先リストに宛先をグループ化して登録すると、指定したグループに一斉同報することができます（宛先リスト同報）。宛先リスト同報サービスを使用するには、別途「グループ指定通信機能」の申し込みが必要です。

例）宛先リスト番号00に登録したEメールアドレスに送信する場合

「ファクスを送信する」（取扱説明書4-2ページ）の手順2の後、受話器を取り、次の操作をします。

1 0 0 3 5 0 1 を押す
プップップッという音が鳴ります。

2 # 2 3 3 ＊ を押す
ダイヤル（パルス）回線をご使用の場合は、#の前に＊（トーン）を押してください。

3 宛先リスト番号 0 0 を押す

4 # # を押す
ピーという音が鳴ります。

5 ファクス送信 を押す

メモ

- Eメールをファクスで受信するには、Eメールの送信側で「iFAX」をご契約いただくか、ファクス側で着信課金機能のご契約が必要です。
- ご利用になるには、NTTコミュニケーションズとの加入契約が必要です。「FAX接続型サービス」でご契約ください。
- 「iFAX」の詳しい内容については、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

4章 こんなときは

故障かな？と思ったら

修理に出したり、サービスセンターにお問い合わせいただく前に、次のことをチェックしてください。また、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」もあわせてご覧ください。

親機のトラブル

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
呼出音が鳴らない	モデムダイヤルインが「する」に設定されていませんか？	モデムダイヤルインサービスを契約していない場合は、「しない」に設定してください。	3-3
		モデムダイヤルインサービスを契約している場合は、サービス開始日になったら「する」に設定してください。	3-3
ナンバー・ディスプレイが正しく動作しない	ナンバー･ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。 ナンバー･ディスプレイの詳細につきましては、NTTへお問い合わせください。	1-2
	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？	回線状態によっては表示できない場合があります。	－
	ナンバー･ディスプレイの設定が「する」になっていますか？	ナンバー･ディスプレイの設定を「する」にしてください。	1-2
ネーム・ディスプレイが正しく動作しない	ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイの付加サービスです。 ナンバー・ディスプレイとネーム･ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	表示させるときは、ナンバー・ディスプレイとネーム･ディスプレイの契約が必要です。 ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの詳細につきましては、NTTへお問い合わせください。	1-2
	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？	回線状態によっては表示できない場合があります。	－
	ナンバー･ディスプレイの設定が「する」になっていますか？	ナンバー･ディスプレイの設定を「する」にしてください。	1-2
キャッチホン・ディスプレイが正しく動作しない	キャッチホン･ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	相手の番号を表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホンII、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。	1-2、3-4
	ナンバー･ディスプレイの設定が「する」になっていますか？	ナンバー･ディスプレイの設定を「する」にしてください。	1-2
着信履歴/キャッチ ○ が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？	着信拒否に設定した相手先からの電話はいっさい受けることができません。受けたい場合は着信拒否を解除してください。	1-4
着信鳴り分けができない	電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？	相手の方の電話番号を市外局番から登録してください。	1-3
	ナンバー･ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	ナンバー･ディスプレイの契約が必要です。 ナンバー･ディスプレイの詳細につきましては、NTTへお問い合わせください。	1-2

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
メールが利用できない	Lモードサービスの利用契約をされましたか？	NTTとの契約が必要です。 Lモードサービスの詳細につきましては、NTTへお問い合わせください。	2-4
		電波障害などで操作できないことがあります。	–
	端末機器自動設定をしていますか？	Lモードを使えるように設定してください。	2-4、2-60
メールの送信・受信ができない	送信先のメールアドレスが正しく合っていますか？	正しいメールアドレスを入力します。	2-31
	受信メールがいっぱいになっていませんか？	未読メール、既読メール、保護した受信メールの合計が50件になると、メールを受信することができません。不要なメールを削除してから操作をやり直してください。	2-49、取扱説明書 8-8
	送信メールがいっぱいになっていませんか？	未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、メールを送信することができません。未送信メールを送信するか、不要なメールを削除してから操作をやり直してください。	2-34、2-37、2-38
メール自動受信ができない	TAやモデムを接続している場合、Lモード対応のTAやモデムをご使用されていますか？	Lモード対応のTAやモデムをお使いください。	–
	お使いのTAやモデムは正しく設定されていますか？	お使いのTAやモデムの設定を確認してください。	–
メール通知音が鳴らない	TAやモデムを接続している場合、Lモード対応のTAやモデムをご使用されていますか？	Lモード対応のTAやモデムをお使いください。	–
	お使いのTAやモデムは正しく設定されていますか？	お使いのTAやモデムの設定を確認してください。	–
カラー画像が白黒でプリントされる	ブラックBJカートリッジBC-10を取り付けていませんか？	カラーBJカートリッジBC-11eを取り付けた後、もう一度プリントしてください。	取扱説明書 1-19

親機のディスプレイのメッセージ

メッセージ	意味	参照ページ
宛先が入力されていません。	送信や保存するメールに宛先が入力されていません。宛先を入力してから送信や保存の操作をやり直してください。	2-31
プリント出来ません	Lモードで表示しているページやメールがプリントできないときに表示されます。記録用紙やBJカートリッジが正しくセットされているか、記録用紙がつまっていないかを確認してください。	取扱説明書 1-13、1-20、9-7
接続に失敗しました。	Lモードとの接続に失敗しました。もう一度操作をやり直してください。	2-5
設定に失敗しました。	端末機器自動設定がうまく設定されていません。もう一度設定し直してください。	2-4、2-60
受信エラー	ナンバー･ディスプレイサービスの利用契約をしていない場合は、ナンバー･ディスプレイの利用を「しない」に設定してください。	1-2
	回線状態が悪い場合に表示されることもあります。	1-2

故障かな？と思ったら（つづき）

子機のトラブル

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
外線 を押すと、外線 は点灯するが使えない	「ナンバー・ディスプレイ」や「モデムダイヤルインサービス」を利用している場合など、子機を使うタイミングによっては、このような症状になることがあります。	一度子機を充電台に戻すか、切 を押すと、普通に使えるようになります。	－
クリア/キャッチ が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？	着信拒否に設定した相手先からの電話はいっさい受けることができません。受けたい場合は着信拒否を解除してください。	1-4
メールが利用できない	Lモードサービスの利用契約をされましたか？	NTTとの契約が必要です。	2-2
		電波障害などで操作できないことがあります。	－
	端末機器自動設定をしていますか？	親機で設定をしてください。	2-4、2-60
メールの送信・受信ができない	送信先のアドレスが正しく合っていますか？	正しいアドレスを入力します。	2-40
	受信メールがいっぱいになっていませんか？	未読メール、既読メール、保護した受信メールの合計が50件になると、メールを受信することができません。不要なメールを親機で削除してから操作をやり直してください。	2-49、取扱説明書8-8
	送信メールがいっぱいになっていませんか？	未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、メールを送信することができません。未送信メールを送信するか、不要なメールを親機で削除してから操作をやり直してください。	2-34、2-37、2-44
外線 が点滅したまま子機が利用できない	子機の登録をしていますか？	子機の増設操作を行ってください。	増設子機操作説明書

子機のディスプレイのメッセージ

メッセージ	意味	参照ページ
宛先がありません	送信や保存するメールに宛先が入力されていません。宛先を入力してから送信や保存の操作をやり直してください。	2-40
アドレス登録がありません	親機の電話帳にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを直接入力するか、電話帳に登録してから操作をやり直してください。	1-6、2-35、2-38
着信	親機または子機でのメール操作を終了した約３～５秒後に、約２秒間表示されます。外線 の点滅が消えるまで、一切操作を行わずそのままお待ちください。	－
	信号の受信中に約２秒間表示されます。このとき呼出音は鳴りません。外線 が点滅し、呼出音が鳴ってから電話に出てください。	－
パスワードあり 親機で 受信してください	パスワードの設定が必要なときに表示されます。親機でパスワードを設定し、メールを受信してください。	2-3
パスワードあり 親機から 送信してください	パスワードの設定が必要なときに表示されます。親機でパスワードを設定し、メールを送信してください。	2-3

5章 参考

索引

英字

50 音

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行